

会長のページ 産業保健総合支援センター	河野 雅行	3
日州医談 自殺対策の現状と課題	吉田 建世	4
随 筆 啄木と牧水の出会いそして結核	大西 雄二	6
エコー・リレー (518)	入佐 浩史, 坪内 齐志	10
メディアの目 災害と医療	宝満 志郎	14
部会だより (学校医部会)	高村 一志	20
診療メモ ネットワークシステムを通した顔の見える 周産期医療ーサブスリーを目指してー	大橋 昌尚	62
宮大医学部学生のページ カリキュラム変更と学生会の役割	山下さくら	64

表彰・祝賀	8
あなたできますか? (平成29年度医師国家試験問題より)	11
宮崎県感染症発生動向	12
郡市医師会だより (児湯医師会, 西都市西児湯医師会)	16
九州医師会連合会第372回常任委員会	22
九州医師会連合会第115回定例委員総会	23
日医インターネットニュースから	24
医師協同組合だより	26
理 事 会 日 誌	29
県 医 の 動 き	35
会員の異動・変更報告	36
ベストセラー	38
ドクターバンク情報	39
行 事 予 定	45
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	47
あ と が き	70

お知らせ 宮崎県医療勤務環境改善支援センター	15
第30回日本医学会総会	21
「新春随想」原稿募集	28
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	43
クールビズについて	61
郡市医師会への送付文書	66

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの
健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに
最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年 3 月12日制定)

〔表紙作品：絵画〕

霧島遠望

妻 吉山絢子は、平成30年 4 月10日に亡くなりました。

日州医事表紙に毎年選んでいただき、ありがとうございます。今回は霧島遠望を出させていただきました。

皆様には、いろいろなことでお世話になりましたが、皆様の今後のご活躍をお祈りして、お礼のあいさつに、代えさせていただきます。

(作) 都城市 吉^{よし} 山^{やま} 絢^{あや} 子^こ
(文) 吉^{よし} 山^{やま} 政^{まさ} 敏^{とし}

会長のページ

産業保健総合支援センター

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

皆様方は宮崎県産業保健総合支援センターをご存知でしょうか。この組織は独立行政法人・労働者健康安全機構の下部組織で県医師会が協力しているものです。労働者健康安全機構は、「勤労者医療の充実」「勤労者の安全向上」「産業保健の強化」を理念として掲げ、傘下に各都道府県「産業保健総合支援センター」が置かれています。産業保健スタッフ向けサービスとしての「産業保健総合支援センター」は働く人の健康を確保するため、以下の様々な事業を行っています。

＊産業医・保健師・看護師・衛生管理者等を対象として、産業保健に関する様々なテーマの研修を実施する。

＊メンタルヘルス対策促進員が中小規模事業場に赴き、ストレスチェック制度の導入について具体的なアドバイス（過剰労働や職場の環境からのストレスで精神的にダウンしないような配慮）をするなど職場のメンタルヘルス対策推進の支援を行う。宮崎県における自殺率は全国平均を上回っている。県内では年間400件以上が精神障害に関わる労災と認定。50名以上の事業所ではストレスチェックの実施が義務付けられているにも関わらず、メンタルヘルス対策に取り組んでいる事業所は57%であり、ストレスチェック制度を積極的に運用しているのは37%にとどまる。

＊ホームページ、メールレター、情報誌の発行を通じて産業保健に関する情報の発信。

＊デモンストレーション用の機器の貸し出し。

＊産業保健関係者からの専門的相談対応として豊富な経験を有する専門スタッフが、「産業医学」「労働衛生工学」「メンタルヘルス」「労働衛生関係法令」「カウンセリング」「保健指導」等の様々な問題について相談に応じる。

＊両立支援として病気の治療を続けながら仕事を止めずに働き続けられるように職場の環境整備や教育について相談に応じる。

＊事業者・労働者に対する啓発セミナー開催。

小規模事業場向けサービスとして「地域産業保健センター」が県内4か所（宮崎、延岡、都城、日南）に設けられています。これは50人未満の事業所に対して産業保健サービスを提供するものです。労働者の健康管理（メンタルヘルスを含む）に係る相談、長時間労働者及びストレスチェックに係る高ストレス者に対する面接指導、健康診断についての医師からの意見聴取、個別訪問による産業保健指導、等を実施しています。

昨今、働き方改革が提唱されており、医療界においても安閑としている訳にはまいりません。他業種の改革進行と歩調を合わせる必要に迫られております。「産業保健総合支援センター」でも「地域産業保健センター」でも行う相談は秘密厳守です。また、提供するサービスはすべて無料です。お気軽に利用・相談を申し込んでください。

（平成30年9月19日）

日州医談



自殺対策の現状と課題

常任理事 よし だ けん せい
吉 田 建 世

1. はじめに

平成10年に全国で自殺者数が3万人を超え、その後も高い水準で推移したため、平成18年「自殺対策基本法」が公布され、宮崎県でも平成20年「宮崎県自殺対策行動計画」が作成され、行政や民間をあげて自殺対策に取り組んできたところである。

2. 自殺対策の現状

自殺対策基本法に基づき、自殺総合対策大綱は、平成19年に策定された後、5年を目途に見直し、平成28年の自殺対策基本法改正を踏まえ、平成29年7月、新しく「自殺総合対策大綱」が閣議決定された。基本理念として、

- ・誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す
- ・自殺対策は、社会における「生きることの阻害要因」を減らし、「生きることの促進要因」を増やすことを通じて、社会全体の自殺リスクを低下させる

とした。

（阻害要因：過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立 等
促進要因：自己肯定感、信頼できる人間関係、危機回避能力 等）

○重点ポイントとして、

- ・地域レベルの実践的な取組みの更なる推進
- ・若者の自殺対策、勤務問題による自殺対策の更なる推進
- ・自殺死亡率を先進諸国の水準まで減少することを目指し、平成38年までに平成27年比30%以上の減少を目標とする（平成27年自殺死亡率は人口10万人当り18.5⇒13.0以下）

○自治体は大綱に基づき、「自殺対策計画」を策定する義務があり、その地域特性に応じて地域における自殺対策をより効果的に実施するために、5つの施策が挙げられた。

- 1) 地域におけるネットワークの強化
- 2) 自殺対策を支える人材の育成
- 3) 住民への啓発と周知

自殺に追い込まれるという危機は誰にでも

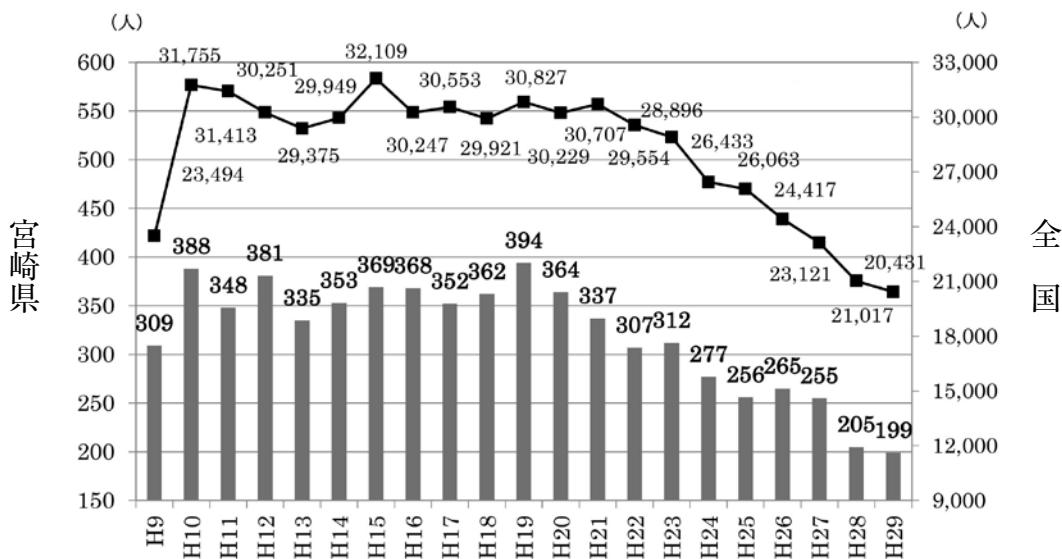


図1. 全国と本県の自殺者数の推移（平成9年～29年）

【厚生労働省「人口動態統計」より県作成】

起こり得るので、誰かに援助を求めることが適当であることが、社会全体の共通認識となるように、積極的に普及啓発を行う必要がある。

4) 生きることの促進要因への支援

5) 児童生徒のSOSの出し方に関する教育

3. 自殺の現状

① 県全体として

- ・宮崎県の自殺者数は、全国と同じく減少傾向にあり、平成29年は199人と初めて200人を切った。ピーク時の平成19年の394人からほぼ半減している(図1)。しかし、男性の自殺者数が3年ぶりに増加に転じたため、女性の約2.8倍となった。
- ・宮崎県の自殺死亡率は、平成29年は18.4人と、ここ20年で最も低くなった。平成19年の全国ワースト2位が9位と改善したが、まだ全国平均を上回っている。
- ・60代が最も多く、次いで50代、40代の順となっている。
- ・男性は40代～60代の働き盛り世代が依然として多く、女性は80代が最も多い。
- ・ここ数年減少傾向にあった50代、40代の働き盛り世代が増加し、10代、20代の若年層が平成29年は一転して減少している。

② 原因・動機について

- ・宮崎県でも、「健康問題」が圧倒的に高く、その内訳は「うつ病」をはじめとする精神疾患が全体の半分以上を占める。次いで「経済・生活問題」となる。
- ・年代別では、30代～60代においては、健康問題以外では、「経済・生活問題」の割合が高い。

③ 自殺未遂歴の有無等について

- ・宮崎県の自殺者の自殺未遂歴の有無を見ると、「未遂歴有」が25%、「未遂歴無」が75%となっており、4人に1人が過去に未遂歴を有している。
- ・また、自殺者の同居人の有無を見ると、「同居人有」が71%、「同居人无」が29%となっている。家庭の中でも孤立していることが考えられる。

4. 県自殺対策推進センター

平成30年3月1日、県福祉保健課内に「県自殺対策推進センター」が設置された。市町村の自殺防止事業を支援するのが主な目的である。現在、県内26市町村のうち宮崎・都城・延岡などの8市町でしか策定されていない「自殺対策計画」を、来年度までに全市町村で策定することを目指す。自殺者の年代や性別、雇用などのデータをもとに、地域に合わせた計画づくりが求められている。市町村や保健所からの相談窓

口となり、FM宮崎での「ひなたのおせっかい」というコーナーや宮崎・都城・延岡の街頭キャンペーンなど自殺予防についての啓発イベントも開催している。

5. 延岡市医師会の自殺未遂者支援事業

自殺未遂者の再企图を防ぐために、搬送された自殺未遂者を支援する体制を作り、平成28年1月より救急医療機関(県立延岡病院)の臨床現場に、管内の精神科医療機関から精神保健福祉士等を派遣し、専門医療機関につなぐ支援を行って、実績も上がっている。

6. かかりつけ医による精神科医紹介システム

宮崎市郡医師会、西諸医師会、日向市東臼杵郡医師会で実施しており、平成30年度からは南那珂医師会でも実施される予定である。

7. 電話相談について

- ・「こころの電話」が平日9時～19時。
- ・「宮崎自殺防止センター」が月水金日の20時～23時。
- ・「ライフネット宮崎」が火木土の19時～23時である。

私は、現在「宮崎自殺防止センター」の理事長をしているが、電話相談はボランティアの方の献身的な努力で成り立っており、特に最近ボランティアの確保に苦慮している状況で、県行政の更なるバックアップも欲しいところである。

8. 課題について

宮崎県全体として様々な対策を行ってきた、自殺者数はピーク時に比べ半減した。このことは大変評価できることである。しかし全国レベルでみるとまだワースト10位以内という状況にあり、今後は宮崎県独自の自殺対策も考慮する必要があると思われる。特に山間地区など都市部以外の自殺死亡率が高く、地域に基づいた「健康問題」や「経済・生活問題」の対策の強化が必要である。また、働き盛り世代の男性や高齢の女性の自殺が多い傾向を考えると、働く世代や高齢者をターゲットにした正しい知識の普及啓発活動や、孤立しないように家庭や地域で支える体制づくりをより推進する必要がある。

9. 最後に

宮崎県医師会の先生方には、本県の自殺対策をより推進していくために、かかりつけ医と専門医療機関の連携推進や患者様への啓発のほどを、よろしくお願い申し上げます。

随 筆



啄木と牧水の出会いそして結核

宮崎市 大西医院 ^{おおにしゆうじ}大西雄二

二人の青春を考える。そして医師として結核を考える。

1911（明治44）年2月3日に牧水は啄木を訪問する。啄木は本郷の床屋の2階6畳2間に一家5人で暮らしていた。1年2か月後の1912（明治45）年4月13日、妻と父、牧水に看取られて死去した。僅か26歳であった。

牧水は1885（明治18）年8月24日生まれで、啄木は1886（明治19）年2月20日生まれであり、僅か半年しか違わず一緒に同時代を過ごした。

この年代を比較して考えてみたい。

啄木は洪民、牧水は坪谷ともに自然あふれる田舎育ちである。啄木にとって岩手山、牧水は尾鈴山ともに古里の山と慕われていた。生家は牧水が医家であるのに対し、啄木は住職で、のちに父のお家騒動に巻き込まれ苦渋の経験をした。思春期に牧水は延岡市、啄木は盛岡市と地方都市。学歴は、牧水は東京に遊学し早稲田大学を卒業、それに対し啄木は盛岡中学を中退し、このことはその後の生活にも影響を与えている。

啄木は、1904（明治37）年詩集『あこがれ』、1910（明治43）年『一握の砂』、死後1912（明治45）年『悲しき玩具』で、生前には1冊の詩集と1冊の歌集であり作品の量は少ない。歌人としては牧水が1908（明治41）年第一歌集『海の声』を上梓している。

啄木には天才としての自覚そして屈辱。理想と現実の格差そして仮借なく見つめる社会の眼がある。嫁と姑との不仲、小学校代用教員、地

方新聞記者、朝日新聞校正係と渡り歩いた。世間智のなさ、処世術のなさ、借金を繰り返す生活破綻者、放浪生活、都市の貧困プロレタリアートであった。

牧水は「石川啄木君と僕」で臨終の席で「医者、電報打ち、区役所、警察署、葬儀社などへ独りで駆け廻ってゐると、ほか／＼と照る日光に着斜せられて僕は度々眼がくらみかけた。先刻床を移す時につく／＼と見た人間らしくもない迄に衰弱した人の姿が陽炎のやうに其処此処にちらついてあるのを見た」。と記している。

牧水の脳裏には「人間らしくもない迄に衰弱した人の姿」「僕の顔を見て、またにつこり笑った」として啄木の姿が焼き付いており、随想の最後に次のような文章で心情を吐露している。

「死んだ人のことを思ふのは、いま生きてゐる自身に対し、常に深い冷笑であり、暗示である。

けれども僕は矢張りさう思つてゐる、死んではつまらないと。そして、石川君を常に気の毒に思つてゐる」。

啄木の「衰弱した人の姿」は結核であった。啄木は腹膜炎の最中に結核を罹患した。「貧困」と「結核」という二つの苦しみにうちひしがれた人生だった。死の影がやどっている。

年ごとに肺病病みの殖えてゆく村に迎えし若き医者かな

呼吸すれば胸の中にて鳴る音あり。風しよりもさびしきその音！

結核は「労咳」と呼ばれた江戸時代、あるいはそれ以前から日本に存在した。明治維新以降、産業革命・都市化と並行して明治時代に流行した。結核の蔓延は遅れてやってきた産業革命と急速な近代化のつけであった。

1872（明治5）年に富岡製糸場が設置され、貧しい農村から若い女性たちが、女工として駆り出された。富国強兵策と女工の結核は密接な関係があった。石原修の『女工と結核』1913（大正2）年の研究は、女工の労働により繊維産業を中心とした軽工業の産業革命を達成した1910（明治43）年に、農商務省の行った調査に基づくものである。女工の死亡率は一般死亡率の3倍、同年世代の半数以上を占めた。繊維産業での女工の悲惨な状態は、結核などの疾病に起因することを明らかにし、1911（明治44）年の工場法制定を促す役割を果たした。

結核の原因は貧困であり、都市の貧困層を中心に蔓延していく社会病であった。結核死亡率を見ると1910（明治43）年に記録上のピーク（人口10万対230）に達する。ほぼ啄木の死んだ年である。

1919（大正8）年に「結核予防法」が成立した。死因順位の年次推移では、戦前は順位の1位、

2位を占め、3位以降に後退するのは1955（昭和30）年以降である。

統計がとられ始めてから、常に女性の結核死亡率は男性より高かった。特に若い女性の死亡率は著しく高く、15～24歳の若い女性の200人に1人が毎年結核で死亡していた。

地域格差は大きく、宮崎県は最も低く、最も高かった東京府の死亡率の約四分の一であった。

牧水は健脚で結核とは無縁であった。

いざ行かむ行きてまだ見ぬ山を見むこのさびしさに君は耐ふるや

個々の患者の発生とは別に、集団発生が目立つのも最近の発生の重要な特色である。急速に進んだ高齢化、増加する既感染者の発病。建物の気密化などが増加の要因として挙げられる。

現在の問題は、予想された高齢化、弱者集中化といったことへの対応が十分でなかったための「結核弱者」への発生偏在であるとされる。

わが国の結核は、世界で最も速い患者数の減少と驚くべきスピードで改善されたが、依然として最大の感染症である。

死因順位の推移(死亡率)

年 次		第1位		第2位	
		死 因	死亡率	死 因	死亡率
1900	明治33	肺炎および気管支炎	226.1	全 結 核	163.7
5	38	肺炎および気管支炎	247.4	全 結 核	206.0
1910	43	肺炎および気管支炎	262.0	全 結 核	230.2
15	大正4	肺炎および気管支炎	261.1	胃 腸 炎	247.2
1920	9	肺炎および気管支炎	408.0	胃 腸 炎	254.2
25	14	肺炎および気管支炎	275.9	胃 腸 炎	238.2
1930	昭和5	胃 腸 炎	221.4	肺炎および気管支炎	200.1
35	10	全 結 核	190.8	肺炎および気管支炎	186.7
1940	15	全 結 核	212.6	肺炎および気管支炎	184.8

表彰・祝賀

救急医療功労により県知事表彰

うえ だ たかし
上 田 孝 先生(宮 崎)

いい だ まさ ゆき
飯 田 正 幸 先生(都 城)

いの うえ ひろし
井 上 博 先生(延 岡)

つる た あき と
鶴 田 明 土 先生(西 都)

平成30年9月6日、救急医療功労により県知事表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



上田 先生



飯田 先生



井上 先生



鶴田 先生

表彰・祝賀

救急医療功労により厚生労働大臣表彰

さこ だ こういちろう
迫 田 耕一郎 先生(宮 崎)

平成30年9月10日、救急医療功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



迫田 先生

産科医療功労により厚生労働大臣表彰

まる た しげ のり
丸 田 茂 徳 先生(都 城)

平成30年9月10日、産科医療功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



丸田 先生

エコー・リレー

(518回)

(南から北へ北から南へ)

地元に戻って

小林市 小林市立病院 ^{いり}入 ^さ佐 ^{ひろ}浩 ^{ふみ}史

私は小林市生まれであり、執筆依頼を受けた時は地元小林市で研修中である。小林は相変わらず時間がのんびり流れており、とても居心地が良い。

研修が始まり1年半が過ぎた。徐々に生活リズムも確立

し、充実した日々を過ごすことができています。わずかな休日には行きつけのうどん屋さん足運び、お腹を満たす。いつも何を頼むか迷い、結局同じメニューを頼んでしまうが、それが私のルーティンである。冷静に考えると何のためにこのルーティンをこなしているのかは謎だが、尊敬してやまないイチロー選手に多くのルーティンがあるため、その影響であることは明らかなだ。それ故、今年の5月にイチロー選手が今季の試合に出場しないことが決まった時は大きなショックを受けた。現在は大谷選手がMLBで一躍脚光を浴びているが、イチロー選手のファンとしては、今一度イチロー選手の偉大な記録と活躍を思い出していただきたいと心から願っている。

話は脱線したが、小林での研修中に病院に実習に来た小学生～中学生と話をすることがあった。私の拙い話を一生懸命聞くその姿が嬉しく、昔の自分もこうだったのかなと少し懐かしくも感じた。「いつかは地元で恩返しを」、高校卒業時に担任の先生に言われた言葉であるが、あれから8年、心の片隅にあったこの言葉が気になり、2か月という短い期間ではあるが地元の小林市での研修を選択させていただいた。誠心誠意、情熱をもって今日も患者さんと向き合いたい。

[次回は、延岡市の小川 宗一郎先生をお願いします]

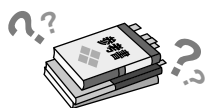
小林で還暦を迎えます

小林市 小林市立病院 ^{つば}坪 ^{うち}内 ^{ひと}斉 ^し志

小林市立病院に赴任して20年目となりました。医局長に「2年間頑張ってくれ」と指示され鹿児島より着任し、ついに来年還暦を迎えます。以前、宮崎江南病院

に1年間勤務していましたが、着任時宮崎の知人はほとんど皆無でした。さらに、当院では医師不足をはじめ逆風も少なくなかったものの、幸い多くの方々に支えられ大過なく現在も診療を続けています。単身赴任中の当地は、西諸牛はもちろん、寒暖の差が大きいため葡萄、梨および苺等果物の産地でもあります。さらに山間部にもかかわらずなぜか寿司や鮮魚も安価で美味しく、飲酒量と体重増を抑えることに苦労してきました。お陰様で、家内の指示する内服薬も5種類となりました。近年は、さすがに翌日の業務に支障を来すため飲酒の量と機会が激減し、年齢を実感しています。一時熱中した競技ゴルフも、クラブへの投資のみでは飛距離低下に対応できなくなり、結局エンジョイゴルフに落ち着きました。結婚後34年経って子育てからは解放されましたが、共働きのため残念ながら今も長期休暇は望めません。先日、鹿児島から新幹線、A列車および船を乗り継いで、天草までの日帰り旅行を強行しました。乗り鉄の小生は、A列車ではデコポンハイボールを楽しめそれなりに満足しましたが、お供をお願いした家内の評価は、残念ながら「暑かった」と一言でした。これに懲りず、次回こそ高評価が得られるよう密かに新たなプランを検討中です。

[次回は、宮崎市の下薗 孝司先生をお願いします]



あなたできますか？

—平成29年度 医師国家試験問題より—

(解答は23ページ)

1. 49歳の男性。高熱を主訴に来院した。3日前からの発熱、咳嗽および膿性痰のために受診した。既往歴に特記すべきことはない。意識は清明。体温 39.5℃。脈拍 116/分、整。血圧 128/82mmHg。呼吸数 24/分。右肺に coarse crackles を聴取する。血液所見：白血球 19,200 (桿状核好中球 4%，分葉核好中球 84%，単球 2%，リンパ球 10%)。血液生化学所見：AST 48U/L, ALT 42U/L。CRP 19.8mg/dL。腎機能は正常である。胸部エックス線写真で右下肺野に浸潤影を認める。急性肺炎と診断し、入院させてスルバクタム・アンピシリン合剤の投与を開始することにした。

1日の投与量を同一とした場合、この患者に対する投与方法として最も適切なものはどれか。

- a 1回経口投与
- b 1回筋注
- c 1回点滴静注
- d 2回点滴静注
- e 3回点滴静注

2. 酸素投与方法、酸素流量と想定される吸入酸素濃度の組合せで正しいのはどれか。

- a 鼻カニューラ 2L/分——20%
- b 鼻カニューラ 4L/分——50%
- c マスク 6L/分——80%
- d リザーバー付きマスク 7L/分——50%
- e リザーバー付きマスク 10L/分——90%以上

3. 散瞳して行う検査はどれか。

- a 視野検査
- b 調節検査
- c 隅角検査
- d 両眼視機能検査
- e 蛍光眼底造影検査

4. 生後8か月の乳児。ぐったりしていると、母親に抱きかかえられて救急外来を受診した。児は呼吸、心拍および対光反射がなく、蘇生を試みたが反応なく、死亡が確認された。頭部や顔面に新旧混在した皮下出血の散在と両足底に多数の円形の熱傷痕とを認める。母親によるとこれまで病気を指摘されたことはなかったという。死後に行った頭部CTでは、両側に硬膜下血腫を認める。

最も考えられるのはどれか。

- a 虐待
- b 髄膜炎
- c 先天性心疾患
- d 溶血性尿毒症症候群(HUS)
- e 乳幼児突然死症候群(SIDS)

5. 月経周期の12日目に性交があった女性が緊急避妊の目的でホルモン薬を内服する場合、適切な服用時期に含まれるのはどれか。

- a 性交後1日目
- b 予定月経の1日前
- c 基礎体温上昇後5日目
- d 予定月経が3日遅れた日
- e 妊娠反応が陽性になった日

6. 21歳の男性。奇妙な行動をとるため両親に伴われて来院した。1週間前に大学院の入学試験を受けてから不眠が続いていた。本日朝から駅前のベンチの周りを独り言を言いながら約3時間ぐるぐると回っていたことで警察に保護されたため、両親に伴われて近くの総合病院を受診した。身振りや表情が乏しく、一点を凝視しており視線を合わせようとしめない。急ににやにやるかと思うと、おびえたような表情に変わる。黙ったまま何かに聞き入ってうなずく様子がみられ、質問には全く返答することはないが、唐突に「なるほど」「だからか」などとあたかも対話するように短く独語する。これまでに発達や適応上の問題はない。血液生化学所見、頭部MRI及び脳波で異常を認めない。

この疾患にみられる症状はどれか。

- a 感覚失語
- b 行為心迫
- c 連合弛緩
- d 小動物幻視
- e 記銘力障害

7. 78歳の男性。約1か月前から断続的に生じる肉眼的血尿を主訴に来院した。排尿時痛はない。60歳時に前立腺癌に対して放射線照射を行った。喫煙歴はない。血液所見に異常を認めない。PSA値は0.01ng/mL(基準4.0以下)。

まず行うべき検査はどれか。2つ選べ。

- a 骨シンチグラフィ
- b 腎シンチグラフィ
- c 腹部超音波検査
- d 膀胱鏡検査
- e FDG-PET

8. 異常呼吸と疾患の組合せで誤っているのはどれか。

- a 起坐呼吸——肺水腫
- b 呼吸延長——気管支喘息
- c 口すぼめ呼吸——COPD
- d Kussmaul呼吸——過換気症候群
- e Cheyne-Stokes呼吸——脳梗塞

9. 関節リウマチの診断において最も有用なのはどれか。

- a 発熱
- b 冷感
- c 皮疹
- d しびれ
- e 関節腫脹

10. 保健医療に関する国際的な提言と内容の組合せで誤っているのはどれか。

- a WHO憲章——健康の定義
- b オタワ憲章——ヘルスプロモーション
- c リスボン宣言——患者の権利
- d ヘルシンキ宣言——公衆衛生の定義
- e アルマ・アタ宣言——プライマリヘルスケア

宮崎県感染症発生動向 ～ 8月～

平成30年7月30日～平成30年9月2日(第31週～第35週)

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核14例(男性8例・女性6例)：保健所別報告数は【図1】、病型別報告数は【表1】、年齢別報告数は【表2】のとおりである。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症14例：都城(11例)、宮崎市(1例)、日南(1例)、中央(1例)保健所管内から報告があった。そのうち1例でHUS発症がみられた。年齢別報告数は、0～4歳(9例)、5～9歳(1例)、20歳代(1例)、30歳代(1例)40歳代(2例)である。主な症状として腹痛、水様性下痢、血便、発熱等がみられ、原因菌のO血清型別報告数は【表3】のとおりである。

4類：○重症熱性血小板減少症候群(SFTS)2例：宮崎市(1例)、日南(1例)保健所管内から報告があった。40歳代(1例)、70歳代(1例)で、ダニの刺し口は確認出来なかった。主な症状として発熱、食欲不振、全身倦怠感等がみられた。

○デング熱1例：都城保健所管内から報告があった。10歳代で、主な症状として発熱、頭痛、発疹がみられ、海外渡航歴があった。

○日本紅斑熱8例：宮崎市(6例)、日南(2例)保健所管内から報告があった。60歳代(4例)、70歳代(4例)で、このうち5例でダニの刺し口が確認された。主な症状として発熱、頭痛、発疹、DIC、肝機能異常がみられた。

5類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で、主な症状は肺炎である。原因菌は *Enterobacter aerogenes* であった。

○侵袭性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。40歳代で、主な症状として発熱がみられた。

○破傷風1例：小林保健所管内から報告があった。50歳代で、主な症状として開口障害、嚥下障害、呼吸困難等がみられた。ワクチン接種歴はなかった。

○百日咳37例(男性16例・女性21例)：保健所別報告数は【図2】、年齢別報告数は【表4】のとおりである。主な症状として持続する咳、夜間の咳き込み、スタックート、ウープ等がみられた。百日咳のワクチン接種歴は有(28例)、無(1例)、不明(8例)である。

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	3
その他の結核(腸結核、結核性リンパ節炎)	3
無症状病原体保有者	6
疑似症患者	2

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	1
40歳代	3
60歳代	4
70歳代	2
80歳代	4

表3 腸管出血性大腸菌感染症 O血清型別報告数(例)

O26 (VT1産生)	8
O26 (VT型不明)	3
O103 (VT1産生)	1
O157 (VT1, VT2産生)	1
O157 (VT型不明)	1

表4 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	2
5～9歳	14
10歳代	13
20歳代	1
30歳代	1
40歳代	3
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	1

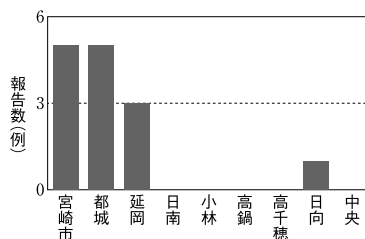


図1 結核 保健所別報告数

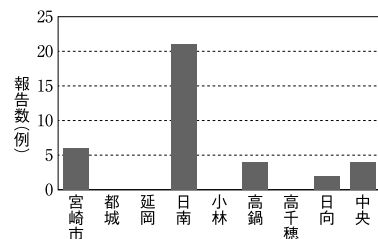


図2 百日咳 保健所別報告数

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	EBウイルス	1
	アデノウイルス1型	1
	エコーウイルス18型	8
	ヒトヘルペスウイルス6	1
	ヒトライノウイルス	1
	エンテロウイルス71型	2
	ヒトパレコウイルス1型	1
	風疹ウイルス	1
	風疹ウイルス(遺伝子型1E)(再掲)	1
細菌	<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	1
	EHEC (O26:H11 VT1)	12
	EHEC (O111:HNMT VT1)	1
	EPEC (O157:H40)	1
	<i>Salmonella</i> Bareilly (O7:y:1,5)	1
	<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4, z23:-)	1
	<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g:m:-)	1
	<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	3
	<i>Salmonella</i> Poona又は <i>Salmonella</i> Farmsen (O13:z:16)	1
薬剤耐性菌	<i>Citrobacter koseri</i> IMP-1(+)	1

○風しん1例：高鍋保健所管内から報告があった。50歳代で、主な症状として結膜充血、発疹がみられた。ワクチン接種歴は不明である。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,642人(定点あたり117.8)で、前月の119%、例年の92%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと手足口病である。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎である。

RSウイルス感染症の報告数は747人(21.3)で前月の約3.7倍、例年の約2.3倍である。延岡(44.5)、高鍋(37.5)、日向(24.8)保健所からの報告が多く、2歳以下が全体の約9割を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は319人(9.1)で前月の約2.1倍、例年の約0.6倍である。日向(16.0)、日南(12.7)保健所からの報告が多く、6か月～2歳が全体の約8割を占めている。

感染性胃腸炎の報告数は1,312人(37.5)で前月の約1.4倍、例年の約1.2倍である。小林(80.3)、中央(67.0)、日南(59.0)、日向(54.5)保健所からの報告が多く、6か月～3歳が全体の約5割を占めている。

■月報告対象疾患の発生動向 (2018年8月)

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は31人(2.4)で、前月比111%と増加した。また、昨年8月(1.9)の124%である。
《疾患別》

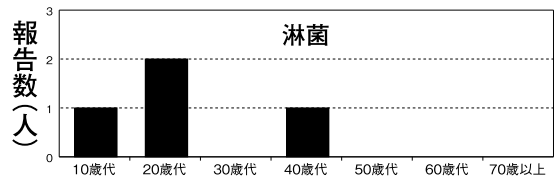
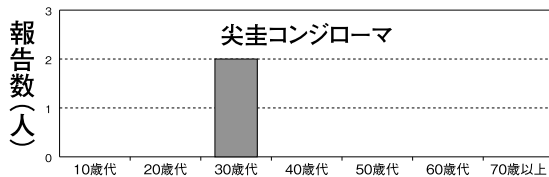
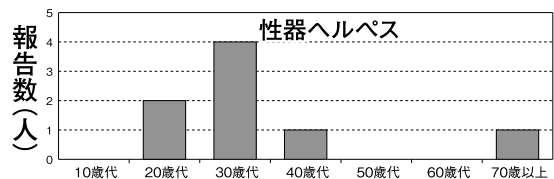
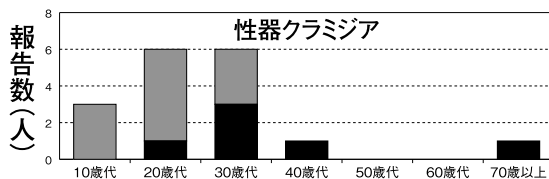
○性器クラミジア感染症：報告数17人(1.3)で、前月の約0.7倍、昨年8月の約0.9倍である。

20～30歳代が全体の7割を占めている。(男性6人・女性11人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人(0.62)で、前月の4倍である。(女性8人)(前年報告なし)

○尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、昨年8月と同率である。(女性2人)(前月報告なし)

○淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の4倍、昨年8月の約1.3倍である。(男性4人)



■ 男 ■ 女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は19人(2.7)で、前月比112%と増加した。また、昨年8月(3.0)の91%である。
《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人(2.6)で、前月の約1.1倍、昨年8月の0.9倍である。70歳以上が全体の約6割を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、前月と同率である。年齢は40歳代である。

(前年報告なし)

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

前月との比較

	2018年8月		2018年7月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	14	0.2	39	0.7	★
RSウイルス感染症	747	21.3	202	5.8	★
咽頭結膜熱	94	2.7	100	2.9	
※溶レン菌咽頭炎	256	7.3	273	7.8	
感染性胃腸炎	1,312	37.5	943	26.9	★
水痘	53	1.5	69	2.0	
手足口病	420	12.0	1,085	31.0	
伝染性紅斑	5	0.1	5	0.1	
突発性発しん	163	4.7	136	3.9	
ヘルパンギーナ	319	9.1	152	4.3	
流行性耳下腺炎	158	4.5	98	2.8	
急性出血性結膜炎	0	0.0	1	0.2	
流行性角結膜炎	99	16.5	63	10.5	
細菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	1	0.1	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

メディアの目



災害と医療

毎日新聞 宮崎支局長

ほう まん し ろう
宝 満 志 郎

やっと、暑く長い夏が終わったようだ。今夏は、その猛暑に加え、7月の西日本豪雨、一連の台風、9月には北海道胆振東部地震など、「天変地異」とまで言うのは大げさだろうか。

災害が起きた場合、まず、人命救助が第一。そして、被災者の健康の維持だろう。その一番大事な部分を担うのが、医療機関であることは言うまでもない。しかし、今夏の災害を見ると、医療の継続が難しいケースもあった。

まず、断水。毎日新聞の記事によると、西日本豪雨で、病院や有床診療所が最大で4県70施設が断水を余儀なくされた。豪雨による断水は、水道管や取水場のポンプが破損したり、浄水場が土砂で埋まったりしたことで発生した。

愛媛県宇和島市の市立病院では当初、貯水槽と高架水槽の水でしのぎ、負傷者の治療はペットボトルの水で傷口を洗い流したという。自衛隊の給水でなんとか一息ついたものの、通常に戻ったのは8月中旬だったという。

広島県呉市の病院でも、給水車で補充は受けていたが、それでも足りず、不急の手術は延期し、二次、三次救急は一次中止したという。

また、停電も怖い。北海道胆振東部地震で、北海道全域が停電（いわゆるブラックアウト）

したことは、衝撃的だった。

札幌市内の病院では0歳女児の酸素吸入器が止まり、別の病院に搬送されるケースもあったという。9月6日時点では、北海道内の病院349か所が停電し、この中には道内の災害拠点病院34か所全てが含まれるが、いずれも自家発電装置で対応した。水が使えない病院も62か所あったという。また、同日時点で、少なくとも16施設で人工透析が行えなくなった。

自然災害に限らず何かことが起きれば、医療機関の果たす役割はあまりに大きい。1995年のオウム真理教による地下鉄サリン事件で、昨年亡くなった日野原重明さんが、院長を務める聖路加国際病院で「患者は全て受け入れる」と被害者の救命・治療に尽力した話は有名だ。

宮崎も、今後30年間で70～80%の確率で起きるとされる南海トラフ地震の脅威がある。皆様も災害に対する備えはしっかり取っておられると思うが、私が言うまでもなく今一度確認していただければと思う。

不安な被災者にとって、病院に光が灯っていれば、どれほど心強いことだろうか。被災者にとって医療機関は「心の砦」でもあるのだろう。

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

各都市医師会だより

児 湯 医 師 会

会長 なが とも かず ゆき
永 友 和 之

6月の総会で指名され、性懲りもなく9期目の会長を務めています。プーチンさんと在職期間はほぼほぼ同じですが、私は他の医師会さんの併合を企てたことは一度もありません。

では児湯医師会の現況を報告します。今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 1) 当医師会の診療圏は東児湯5町(都農町・川南町・木城町・高鍋町・新富町富田地区)で森と海に囲まれた農産物と海産物に恵まれた自然豊かな地域です。

ふるさと納税が全国2位の町、水力発電量は西日本最大(120万kW)の小丸川発電所、日本で一番小さな児湯准看護学校などなど、見所もたくさんあります。国道10号線の一部が片側2車線になり交通混雑もなくなりました。どうぞショッピングや観光にお越し下さい。

- 2) 2025年問題について

①地域医療構想→10数回もの調整会議で順調に進んでいます(85点)。②地域包括ケアシステムの推進→多職種交流会やスキルアップ研修会などを数多く開催していずれも盛況です(100点)。③在宅医療→鋭意努力中ですが(35点)。

お国の政策はいつも大きな誤りをくり返しています。医療行政も然り、前のめりにならず、されどペナルティを受けないように注意しながら医師会運営に務めております。

- 3) 児湯准看護学校は1963年に設立されました。財政問題などの多くの困難を乗り越えながら、現在に至るまで質の高い看護職を育ててきました。その証拠に全国模擬試験で成績は常に上位に位置し、もちろん資格試験では毎年100%の合格率を誇っています。将来、必ず看護職不足が来ます。それに備えて会員一同、本校を守るべく必死で奮闘中であります。



児湯医師会新役員

役員等名簿(任期 平成30年6月21日定時総会終結時～2020年6月定時総会終結時)

役職名	氏 名	診療科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	永友 和之	泌尿器科	永友クリニック	総括, 児湯准看護学校長
副 会 長	蟻塚 高生	眼科	蟻塚クリニック	医療安全対策, 諸規定検討委員会 倫理向上・自浄作用活性化委員会 児湯准看護学校副校長
理 事	大森 史彦	内科, 循環器内科 腎臓内科, 漢方内科 小児内科	大森内科医院	学校検診委員会, 健康教育委員会 心臓・腎臓検診, 東洋医会
〃	黒木 宗俊	内科	黒木内科医院	総務, 会計, 地域医療委員会 宮崎中部地域産業保健センター 産業医部会
〃	坂田 師隣	婦人科	坂田病院	医師協同組合総代, 医師国保議員 児湯准看護学校主事
〃	米澤 勤	外科	海老原総合病院	県医師会理事, 救急災害医療対策委員会 勤務医部会, 病院部会・医療法人部会
〃	高山 修二	小児科, アレルギー科	たかやま小児科	小児科医会, 園医部会 心臓・腎臓検診
〃	糸井 仁	内科, 消化器内科 皮膚科	糸井医院	学術生涯教育委員会
〃	永友 淳司	外科, 内科, 胃腸科 リハビリテーション科	ながとも医院	医療関係者対策, 医師確保対策委員会 国民健康保険審査会審査委員
〃	山口政一朗	整形外科, 放射線科 リハビリテーション科	山口整形外科	情報システム委員会 労災部会・自賠委員会
〃	野津手大輔	内科	野津手・加来内科医院	公衆衛生・感染症委員会 内科医会評議員, 医師協同組合総代 学校医部会評議員
*	〃 押川 克久	内科, 呼吸器科 アレルギー科	おしかわ内科クリニック	医療保険委員会, 社会保険 県央在宅緩和ケア推進連絡協議会
*	〃 永友 研一	胃腸科, 内科 小児科	永友胃腸科内科医院	会員福祉委員会
*	〃 谷 畠 満	整形外科, リウマチ科 リハビリテーション科	たにはた整形外科	介護保険委員会 在宅医療協議会
監 事	崎濱 國治	胃腸科, 外科 消化器科	崎濱胃腸科医院	県外科医会評議員
*	〃 内田 俊浩	内科	内田医院	
*	議 長 高橋 政見	小児耳鼻咽喉科	おりたこどもクリニック	医師国保組合常務理事
*	副 議 長 茂木 晃			

*は新任

各都市医師会だより**西都市西児湯医師会**会 長 ^{まつ}松 ^{もと}本 ^{ひで}英 ^{ひろ}裕

6月25日の定時総会にて、当医師会は会長以下副会長、理事、監事、議長、副議長、顧問全員留任していただき、2期目をスタートしました。1期目においては、初会長としてどこまで役を果たせたか分かりませんが、3人の副会長には代役を含め、多くの場面においてサポートしていただきました。2期目も副会長以下、役員の皆様に支えていただきながら会員の皆様のために尽力を尽くしたいと思います。

独立行政法人西都児湯医療センターにおいては、一次救急は19時～23時のままで行っています。昨年から今年にかけ2名の医師が新たに赴任され、更なる充実を目指していただきたいと思います。そのためには、当医師会としても行政と今まで以上に良好な関係を築き、関わりを密にし、医療面において適切なアドバイスをしていくことが必要と考えております。新病院建設計画は進行中ですが、周辺市民、町民に望まれる病院づくりに全面的に協力していききたいと思います。

今期は在宅医療の推進に対し、認知症対策も含めて、更に行政および多職種と連携し、ICT導入の試みや研修会の充実を図り、A会員20名、B会員20名の医師会ですが、今期も“和”を大切にし、職務を全うしたいと思います。

今後とも県医師会はじめ皆様方のご支援、ご協力のほどよろしくお願いします。



西都市西児湯医師会新役員

役員等名簿（任期 平成30年6月25日定時総会終結後～2020年6月の定時総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	松本 英裕	整形外科, リウマチ科 リハビリテーション科	三財病院	総括, 学校保健, 医療事故, 産業医 在宅医療, 勤務医部会, 産業医部会 宮崎中部地域産業保健センター 健康教育委員会, 医師確保対策委員会 医療安全対策委員会, 県在宅医療協議会 医師協同組合総代
副 会 長	大塚康二郎	形成外科, 美容外科 皮膚科	大塚病院	県医師会理事, 労務, 会計 情報システム委員会, 諸規定検討委員会 園医部会
〃	黒木 重晶	内科, 胃腸科	黒木胃腸科医院	総務, 学術生涯教育委員会 公衆衛生・感染症委員会 西都市西児湯内科医会会長 学校医部会評議員, 医師協同組合総代
〃	鶴田 明土	整形外科 リハビリテーション科	鶴田病院	医師保険, 救急医療, 医療保険委員会 救急災害医療対策委員会 地域医療委員会
理 事	上野 尚美	内科, 腎臓内科	上野医院	腎臓・糖尿検診, 県内科医会評議員 糖尿病対策
〃	上山 裕史	整形外科, リウマチ科 リハビリテーション科	上山医院	介護保険, 介護保険委員会
〃	片山 陽平	内科, 総合診療	西米良診療所	会員福祉・文化厚生, 会員福祉委員会
〃	水田 能久	内科	水田内科医院	心臓検診, 学校検診委員会 医師関係者対策委員会
監 事	相澤 潔	内科, 麻酔科 リハビリテーション科	三財病院	宮崎県医師連盟宮崎県第2区 副委員長 西都市西児湯内科医会監事
〃	兒玉 健二	内科, 循環器科	兒玉内科クリニック	
議 長	大塚 和子	皮膚科	大塚皮膚科医院	
副 議 長	河野 立	整形外科, リウマチ科 リハビリテーション科	この整形外科	
顧 問	岩見 晶臣	小児科	いわみ小児科医院	県小児科医会幹事
〃	大塚 直純	外科, 消化器科 胃腸科	大塚病院	
〃	富田 雄二	内科, 循環器科 小児科	富田医院	医師協同組合総代

部会だより

学 校 医 部 会



かわの まさゆき
河野 雅行 部会長

宮崎県医師会学校医部会は510名の会員からなり、県医師会の河野会長が部会長を務めています。役員は各郡市医師会から選出された理事を中心に構成されており、児童生徒の健康診断、心臓・腎臓・小児生活習慣病・運動器検診、精神保健などの様々な活動を行っています。

平成29年度の主な事業として、8月に総会・医学会をテレビ会議で開催し、特別講演として「子どものがんの過去、現在、そして未来」と題し、宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座小児科学分野教授の盛武浩先生、「先制医療としての小児生活習慣病予防健診」と題し、JCHO高岡ふしき病院小児科部長の宮崎あゆみ先生にそれぞれご講演いただきました。学校医や養護教諭など、67名の参加がありました。

8月5日・6日の両日、佐賀県において、九州ブロック学校保健・学校医大会関連行事が開催され、メインテーマを「健やかな成長を願って～守ろう、こころ・からだ・いのち～」と掲げ、心臓・腎臓・小児生活習慣病・運動器の部門ごとの教育講演、眼科・耳鼻科・運動器の各分科会が行われました。

8月に佐賀県、11月に福岡県において開催された九州学校検診協議会専門委員会では、心臓・腎臓・小児生活習慣病・運動器の4つの部門に分かれ協議を行い健診内容や集計の標準化に取り組みました。

全国学校保健・学校医大会が11月に三重県で開催され、メインテーマ「輝ける未来を築く子どもたちのために～今、学校医ができること～」について、分科会及びシンポジウム等が行

われ、本会役員及び各郡市の担当理事が参加しました。3月には日医学校保健講習会が開催されますが、学校健診等の情報収集のため毎年学校医部会担当理事が出席しています。

平成30年度は去る8月18日に県医師会学校医部会総会・医学会をテレビ会議にて開催しました。特別講演の1題は「おたふくかぜによる難聴と治療の現状」と題し宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講師の我那覇章先生に、もう1題は「学童期の発達障害」と題し宮崎市総合福祉保健センターの大庭健一所長に講演していただきました。我那覇先生には県南地区で流行を続けているおたふくかぜにより、既に今年度3名の難聴が発生していること、大庭先生には小1プロブレムなど学童期の発達障害の特徴や課題について講演していただき、医師59名、園・学校・行政関係155名と多くの参加がありました。

平成28年度から学校健診において運動器検診が新たに始まりました。平成28年3月には宮崎大学整形外科学教室の帖佐悦男先生に運動器検診の講演をしていただき、学校医の先生方に運動器検診について遍く理解していただきました。

運動器検診の開始に伴い、九州学校検診協議会専門委員会でも、心臓・腎臓・小児生活習慣病の部門に加え昨年度から運動器部門が正式に認められ、協議が開始されています。運動器検診が加わったことで健診の時間が超過するなどの問題はありますが、今のところ大きな混乱もなく健診が進められているようです。

今後は運動器検診の精度をどのように上げていくかが議論されていくことになります。先生方のご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

(理事 高村 一志)
たかむら かずし

お知らせ

第30回 日本医学会総会 2019 中部
医学と医療の深化と広がり
 ~健康長寿社会の実現をめざして~
 会 頭 齋藤 英彦 (名古屋大学名誉教授)

学術集会 2019年 4月27日(土)~4月29日(月・祝)
 名古屋国際会議場、名古屋学院大学白鳥学舎、ウインクあいち

学術展示 2019年 4月26日(金)~4月29日(月・祝)
 名古屋国際会議場、ポートメッセなごや

市民展示 2019年 3月30日(土)~4月7日(日)
 ポートメッセなごや

医学史展 2019年 3月2日(土)~4月28日(日)
 名古屋大学博物館

分科会応援早割(事前参加登録)
 (対象:医師・歯科医師・研究者)

締切: 2018年10月31日(水)正午まで

締切迫る!

2019年4月27日(土)から29日(月・祝)の3日間、「第30回日本医学会総会 2019 中部」が名古屋で開催されます。

事前参加登録期間は、来年4月5日までですが、特に10月31日までを「分科会応援早割」として、登録時に日本医学会分科会（日本医学会に加盟する学会）に所属している方については、5,000円割引で登録ができる期間としています。ぜひ、この機会にご登録ください。

また、県医師会員におかれましては、本号送付時にパンフレットを同封しております。詳細についてはそちらをご確認ください。

参加登録料（医師・歯科医師・研究者）

分科会応援早割（2018年10月31日まで） 25,000円

事前参加登録（2019年4月5日まで） 30,000円

当日参加登録 35,000円

詳細は、ホームページ <http://isoukai2019.jp/> にも掲載されていますのでご覧ください。

事前参加登録はこちらから
<http://isoukai2019.jp/>

医総会 2019

検索



九州医師会連合会第372回常任委員会

と き 平成30年 8 月25日(土)

ところ 城山ホテル鹿児島

1 挨拶

1) 前九州医師会連合会長

福岡県医師会長 松田 峻一良

2) 九州医師会連合会長

鹿児島県医師会長 池田 琢哉

2 報告

1) 九州医師会連合会事務引継ぎ

8月10日に福岡市で、福岡県医から鹿児島県医に引継ぎを完了した旨の報告が行われた。

2) 九州医師会連合会第115回定例委員総会について

本常任委員会終了後に開催される定例委員総会の内容、スケジュールの報告が行われた。

3) 日本医師会会内委員会委員について

九州各県医に照会後、日医に推薦した25の委員会の委員について報告が行われた。

3 議 事

第1号議案 平成29年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

第2号議案 平成30年度九州医師会連合会事業計画に関する件

第3号議案 平成30年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

第4号議案 平成30年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

第5号議案 平成30年度九州医師会連合会監事(2名)の選定に関する件

第6号議案 平成30年度第118回九州医師会医学事業計画に関する件



第7号議案 平成30年度第118回九州医師会医学学会会費賦課に関する件

第8号議案 次回第119回(2019年度)九州医師会医学学会開催担当県の決定並びに次々回第120回(2020年度)同学会開催担当県の内定に関する件

第1号から第7号議案については、原案通り承認され、本常任委員会終了後に開催される定例委員総会に上程することとなった。

また、第8号議案については、次回第119回は佐賀県医に決定、次々回の第120回は宮崎県医に内定した。

4 協 議

1) 平成30年7月豪雨に係る見舞金について

九州医師会連合会として、先の豪雨で甚大な被害を受けた岡山県医、広島県医、愛媛県医に各々20万円ずつ見舞金を送ることを承認した。

出席者－河野会長、竹崎次長兼総務課長

第115回九州医師会連合会定例委員総会

と き 平成30年 8 月25日(土)

ところ 城山ホテル鹿児島

1 開 会

2 挨 拶

1) 前九州医師会連合会長

福岡県医師会長 松田 峻一良

2) 九州医師会連合会長

鹿児島県医師会長 池田 琢哉

3 来賓祝辞

1) 日本医師会長

横倉 義武

2) 日本医師会常任理事

平川 俊夫

3) 日本医師連盟選出国會議員

羽生田 俊

自見はなこ

4 記念品贈呈

今年 6 月に日医役員を退任された、福田熊本県医師会長、池田佐賀県医師会長、長崎県今村定臣先生並びに県医師会会長を退任された長崎県蒔本恭先生へ記念品が贈呈された。

5 報 告

1) 第372回常任委員会について

第 1 号議案から第 7 号議案を本定例委員総会に提案すること及び平成31年度九州医師会医学会の開催が佐賀県に決定、平成32年度が宮崎県に内定したことが報告された。

2) 平成29年度九州医師会連合会庶務並びに事業報告について

6 議 事

第 1 号～第 7 号議案は常任委員会と同じ



第 8 号議案 2019年度(平成31年度)九州医師会連合会負担金・九州医師会医学会会費に関する件

第 1 号議案から第 4 号議案、第 6 号、第 7 号議案については原案どおり承認された。

第 5 号議案の平成30年度の監事については、宮崎県の山村善教委員、沖縄県の稲田隆司委員が選定された。

第 8 号議案では、2019年度(平成31年度)の九医連負担金を500円増額の一人当たり年額2,000円、九医学会費を500円減額の一人当たり年額2,000円とすることが承認された。

出席者－河野会長、濱田・山村副会長、

吉田・小牧・荒木常任理事、

竹崎次長、松本課長、畠中・堀之内主事

あなたできますか？ (解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	e	e	a	a	c	c, d	d	e	d

日医インターネットニュースから

■民間医師月給92万円に下落、時間外も減 — 人事院・18年調査 —

2018年の人事院勧告に伴って同院が民間企業の今年4月時点の給与などを調べた「職種別民間給与実態調査」によると、医師(平均年齢47.7歳)の基本給と毎月一律に支給される各種手当などを合わせた給与(時間外手当除く)の平均は92万2352円で、前年調査(44.2歳)より4万7299円低かった。時間外手当も前年から1万6962円減少し、7万9296円だった。合計では6万4261円減の100万1648円となった。

医師は病院長の時間外手当を除き、役職にかかわらず、基本給、時間外手当が減少していた。

●医師の平均初任給、7000円減の41万円

医師の初任給の平均額は前年から7015円減の40万9322円。所属施設の規模別では、勤務者100人以上500人未満で35万647円(調査事業所が10事業所以下)、500人以上で41万2338円だった。

(平成30年8月28日)

■7月豪雨への対応を踏まえ、対策協議 — 第26回被災者健康支援連絡協議会 —

第26回被災者健康支援連絡協議会が8月28日、日医会館小講堂で開催された。

冒頭あいさつした横倉義武同協議会代表(日医会長)は、平成30年7月豪雨に対する構成団体の支援に感謝の意を示した上で、各構成団体に対して、「本日は、今後の大規模災害への対応を検討するためにも、今回の7月豪雨に対する対応について反省点も含めて報告をお願いしたい」と述べた。

議事では、まず、テレビ会議で出席した被災3県医師会(岡山・広島・愛媛)から、被災状況並びに復興状況についての報告が行われた。

松山正春岡山県医会長は、医療機関を再開するための最大の課題は資金の問題だと指摘。行政に対してもスピード感のある対応を求めた。平松恵一広島県医会長は避難所の感染症対策の

ため、JMAT感染対策チームを組織し対応したことを報告するとともに、今後は被災者への心のケアが重要になるとの考えを示した。村上博愛媛県医会長は水の手配ができないために診療ができない医療機関が多かったことを説明。今後は、医師会としてまち全体の復旧にも取り組んでいきたいとした。

行政からは、政府が「平成30年7月豪雨 生活・生業再建支援パッケージ」を決定したこと、厚労省所管の「医療施設等災害復旧費補助金」並びに経済産業省所管の「中小企業等グループ補助金」の説明会を現地で開催すること、仮設住宅の確保や大学病院からの医師の派遣状況等について、報告が行われた。

構成団体からの報告の中では、石川広己常任理事が、＜1＞兵庫県医師会による「統括JMAT」を始め、8月24日現在で250チームのJMATを派遣したこと＜2＞被災医療機関並びに被災地の地域医療・地域包括ケアの復旧支援を目的として、加藤勝信厚生労働大臣らに要望書を提出したこと＜3＞JMAT体制の強化のため、日本医師会防災業務計画・JMAT要綱の改正を9月1日付で行うこと＜4＞災害時、被災地内外から派遣されるJMATが一体的・組織的な医療支援活動が行えるよう、JMAT研修を実施すること—などの日医の対応を説明。今後改善すべき点として、「中小企業等グループ補助金」の対象に電子カルテが含まれていないことを挙げた。

また、同常任理事は10月に都内で開催される「防災推進国民大会2018」の中で、10月13日に「災害医療対策から見た“レジエンスの強化”」をテーマとしたセッションを行うことを紹介し、参加を呼び掛けた。

その後の協議の中では、松山岡山県医会長がまち全体が復興できるような施策の実施を、平松広島県医会長は補助金支給に関する柔軟な対応を、それぞれ要望。村上愛媛県医会長は避難所に避難していない被災者への対応を求めるとともに、メディアで取り上げられた地域とそう

でない地域、アクセスの良い所とそうでない所との復旧格差があることを指摘し、その改善を求めた。

協議会での議論を踏まえて最後にあいさつした横倉会長は、「被災地では依然として、さまざまな課題があることが本日の協議会でも明らかとなった。医療界全体で力を合わせて、引き続きそれらの課題に取り組んでいきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい」と述べ、協議会は終了となった。（平成30年8月31日）

■消費税補てんミスで厚労省に嚴重抗議 — 中川副会長 —

中川俊男副会長は8月30日、厚生労働省で樽見英樹厚労省保険局長と会談し、控除対象外消費税補てん状況の集計ミスに対して、厚労省に嚴重な抗議を行った。

厚労省は、平成27年11月30日に開催された「診療報酬調査専門組織医療機関等における消費税負担に関する分科会」（以下、消費税分科会）において、平成26年度の消費税率5%から8%への引き上げに伴う診療報酬での補てん率を報告していたが、集計ミスがあったとして、本年7月25日に開催された消費税分科会において、修正報告を行った。

それによると、平成26年度の全体の補てん率は、平成27年には102.07%と報告されていたが、実際には約90.6%と10ポイント以上低く、特に病院の補てん率は報告されていた102.36%に対し、82.9%と約20ポイントも低いことが明らかとなり、医療界からは抗議の声が上がっていた。

会談の中で中川副会長は、「本日は横倉義武会長の指示により、医療界を代表する気持ちで抗議に来た」とした上で、「平成27年時点で厚労

省が丁寧な確認作業を行い、補てん不足を認識していれば、平成28年度、平成30年度の診療報酬改定で適正な対応がとられたはずである。それにもかかわらず、厚労省保険局は『マクロでは概ね補てんされている』としてこの状態を放置し、平成29年11月にできたはずの平成28年度の補てん率把握も行わず、各医療機関は過去4年にわたって機会損失を被り、経営難にあえぐこととなった」と指摘。多くの医療機関が多大な不利益を被ったことに対して嚴重に抗議するとともに、速やかな対策を講じることを要望した。

加えて、「補てん率がたまたま想定範囲内の結果であったという理由から、確認作業も疎かにされたことは杜撰と言うほかなく、厚労省の業務全体への信頼性をも揺るがすものである」とし、この問題に限らず、広く業務プロセスをチェックし、再発防止に万全を期すことを求めた。

その他、中川副会長は、三師会・四病院団体協議会により「控除対象外消費税問題解消のための新たな税制上の仕組みについての提言」を取りまとめ、8月29日に公表したことを報告。その実現に向けて全面的な協力を求めた。

これに対して、樽見保険局長は今回のミスについて「担当者がしっかりチェックしていれば防げたことである」として謝意を示すとともに、今後このようなことが起きないように対応したいと回答。また、消費税問題解消のための提言に関しては、「厚労省としても、この提言を基に消費税問題の解決に向けて全力を尽くしていきたい」と述べた。

なお、今回の抗議に対する厚労省の回答は、樽見局長から次回の消費税分科会において示されることとなった。（平成30年9月4日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字(半角)

医師国保組合だより

保健事業のご案内

医師国保組合では、下記の保健事業を実施しております。それぞれの実施期間及び接種期間は平成31年3月末日までです。ぜひご利用ください。

1 健康診断

対 象 者	次のいずれかに該当する被保険者の方々です。 ①組合員、高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち、本年度中に満40歳になる方～74歳の方
実施機関	①各地域の健診機関並びに医療機関 ※自院で実施されても請求できますので「健康診断個人票」により申請してください。 ②日曜日の集団健診(宮崎市郡医師会成人病検診センター) ※子宮頸がん検診、内視鏡検査は実施できません。 (定員各30名、予約は組合まで TEL0985-22-6588) 実 施 日：平成30年10月21日(第3日曜日)、 平成31年1月20日(第3日曜日)、2月3日(第1日曜日) 2月17日(第3日曜日)、3月3日(第1日曜日)
検査項目	血液生化学検査、肝機能検査、血糖検査、尿検査、心電図検査、貧血検査、胸部X線検査、便潜血検査、腹部超音波検査他、詳細は「健康診断個人票」にてご確認ください。

2 胃・大腸内視鏡検査の補助

対 象 者	次のいずれかに該当する被保険者の方々です(健康診断対象者と同様)。 ①組合員、高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち、本年度中に満40歳になる方～74歳の方
検査内容・補助金額	①胃内視鏡検査 15,280円 ②大腸内視鏡検査 21,600円 ※それぞれ1人1回、上記金額を上限として実費を補助します。
請求方法	支給申請書により、組合に申請してください。

3 脳ドック等の補助

対 象 者	被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員
検査内容・補助金額	頭部MR I、頭部MR A、頭部C T等 20,000円 ※1人1回、上記金額を上限として実費を補助します。
請求方法	支給申請書により、組合に申請してください。

4 肺炎球菌ワクチン接種補助

対 象 者	被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員
補助金額	1人 5,000円 ※支払額が補助額を超えた場合の差額は自己負担となります。
請求方法	支給申請書により、組合に申請してください。

5 インフルエンザワクチン接種補助

対 象 者	被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員
補助金額	1人1回2,000円(高齢組合員は1,000円)
請求方法	支給申請書により、組合に申請してください。

6 低線量ヘリカルCT肺がん検診

対 象 者	被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員
実施機関	組合にて委託している県内35医療機関(平成30年9月末現在) ①宮崎 (医)敬愛会稲倉医院, (医)社団康仁会猪島医院, (医)将優会クリニックうしたに, (社医)古賀駅前クリニック健診センター, (社医)耕和会迫田病院, (社医)善仁会市民の森病院総合健診センター, (医)清涼会竹迫医院, 天満橋中央クリニック, (医)春光会なかしま外科・内科, (一財)弘潤会野崎病院, (医)薩典会橋口医院, (一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院附属総合健診センター, (医)エフエムシー福井医院, 宮崎県健康づくり協会(水曜か木曜の午後), (医)陽明会増田病院, (医)児玉胃腸科外科, (医)社団順養会海老原病院, (医)慶明会けいめい記念病院 ②都城 (医)清和会共立医院, (医)啓仁会城南病院, (医)清陵会隅病院 ③延岡 (医)社団嘉祥会岡村病院, (医)健寿会黒木病院 ④日向 (社医)泉和会千代田病院, (医)くろき胃腸科, (医)ふくろう会森迫胃腸科内科 ⑤児湯 (医)宏仁会海老原総合病院 ⑥西都 (医)社団大和会大塚病院 ⑦西諸 (医)養気会池井病院, (医)けんゆう会園田病院, よしむら循環器内科クリニック, (医)連理会和田クリニック, (医)えびのセントロクリニック, (医)武雄会えびの第一クリニック, (医)豊寿会川井田医院
申込・ 受診方法	①医療機関へ受診の予約をしてください。 ②検診当日は, 受診券兼請求書を医療機関へご持参ください。 ※自己負担はございません。

7 歯科健康診査

対 象 者	被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員
実施機関	宮崎県歯科医師会の会員である歯科医院
健診内容	* AまたはBコースをお選びいただけます(健診のみ実施も可)。 Aコース 歯科健康診査+歯石除去・歯のクリーニング Bコース 歯科健康診査+歯石除去・歯のクリーニング+フッ素塗布 ※歯科健診の項目…歯の状況, 歯周病, 補綴の状況, 顎関節, アフタ, 口腔粘膜疾患等 ※歯石除去は保険診療の歯石除去とは内容が異なります。
申込・ 受診方法	①組合員宛にお送りしている申込書に記入の上, 組合宛にファックスしてください。 無料券, 歯科健康診査票(3枚複写), 質問票, 結果票を人数分送付します。 ②歯科医院へ受診の予約をしてください。 *宮崎県歯科医師会の会員であることを必ずご確認ください。 ③健診当日は, 無料券, 歯科健康診査票(3枚複写), 質問票, 結果票, 被保険者証を 歯科医院へご持参ください。 ※自己負担はございません。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL: 0985-22-6588 FAX: 0985-27-6550

※ 各種申請書は, 当組合ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>



「新春随想」原稿募集



恒例になりました「新春随想」を平成31年1,2月号に企画いたしております。
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

- 題 材** 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等なんでも結構です。
本文に関連した写真・イラスト等 (1枚程度, カラー印刷はできません)
- 字 数** 800字以内 (字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご了承ください)
- 締 切** 平成30年12月10日(月)
- 宛 先** 宮崎県医師会広報委員会
- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
 - ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
 - ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
 - ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
 - ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨ご指示ください。
 - ◎ 日州医事は、会員以外 (マスコミ・行政・図書館等) にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス (genko@miyazaki.med.or.jp) 宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法 (FAX, 郵便等) でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル、ご氏名を明記の上お送りください。





平成30年 8 月 7 日(火)第11回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①幹事の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き河野会長を推薦することが承認された。

②宮崎県ナースセンター事業運営委員会委員の推薦について

→事業の円滑かつ効果的な実施を目的に設置されている委員会で、任期満了による推薦依頼があり、池井常任理事と岩村理事を推薦することが承認された。

③宮崎県医療審議会委員の推薦について

→県内の医療提供体制の確保に関する重要事項を調査、検討するため設置される審議会で、引き続き河野会長と濱田副会長を推薦することが承認された。

④宮崎地方労働審議会委員(第9期)への就任について

→宮崎労働局長の諮問に応じ、労働関係法令の施行や公共職業安定所の業務に関する重要事項を調査・協議する審議会で、前任者辞任に伴う推薦依頼があり、産業医、医療従事者、労災等の担当から人選して推薦することが承認さ

れた。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①10/15(月)(ニューウェルシティ宮崎)「医療ガス安全講習会」に対する後援名義の使用について

→医療機関で使用される医療ガスの安全な取扱いについて、医療従事者を対象とした講習会で、名義後援を行うことが承認された。

②10/20(土)(延岡市社会教育センター)平成30年度日本肝臓学会肝がん撲滅運動市民公開講座への後援のお願いについて

→ウイルス性肝炎及び肝がんを撲滅することを目的に「知っておきたい肝臓病の新知识」をテーマに開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

③11/11(日)(総合保健センター)アルコール健康障害対策一般市民公開セミナーの後援について

→アルコール健康障害対策に対する理解を深めるために開催されるセミナーで、名義後援を行うことが承認された。

④11/17(土)(市民文化ホール)第6回宮崎県輸血懇話会における名義後援について

→輸血に携わる医療従事者を対象に、適正な輸血医療の推進と血液事業の活性化を図ることを目的に開催される懇話会で、名義後援を行うことが承認された。

⑤11/23(金)(県立図書館)平成30年度「いいお産の日in宮崎」の名義後援について

→県民と助産師が妊娠・出産・育児について考え、語り合う日として開催するイベントで、名義後援を行うことが承認された。

⑥11/24(土)(宮大医講堂)第7回呼吸療法勉強会の後援について

→呼吸療法の基礎理解の促進を図ること

を目的に開催する勉強会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会から、医療秘書認定試験委員会の委員に池井常任理事を委嘱したいとの依頼があり、本会として了承することが承認された。

4. 8/21(火)(宮崎市)社会保険医療担当者の監査の実施に係る立会について

1 医療機関を対象とする監査で、川野理事を立会人として派遣することが承認された。

5. 8/30(木)(JA-AZM)九州厚生局及び県による社会保険医療担当者の新規個別指導等の実施に係る立会について

1 医療機関を対象とする新規個別指導で、嶋本理事を立会人として派遣することが承認された。

6. 8/30(木)(JA-AZM)九州厚生局及び県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

1 医療機関を対象とする個別指導で、嶋本理事を立会人として派遣することが承認された。

7. 10/6(土)(鹿児島)「九州医師会連合会第373回常任委員会」並びに「平成30年度九州医師会連合会第1回各種協議会」の開催について

鹿児島県で初めて開催される各種協議会で、開催種目等が決定したことから、地域医療は金丸常任理事、医療保険は小牧常任理事、介護保険は石川常任理事が中心となって提案事項の取りまとめを行うことが承認された。

8. 10/2(火)(県医)宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇談会について

本県の医療に関する諸問題について意見交換するために開催する懇談会で、学長をはじめとする大学関係者、郡市医師会長、

専門分科医会長、県医師会代議員等に案内することが承認された。

9. 10/9(火)(県医)各郡市医師会長協議会について

都道府県医師会長協議会(9/18)の報告を中心に開催する協議会で、当日のスケジュール等の確認が行われ、郡市医師会に案内すると共に提出議題等を照会することが承認された。

10. 10/28(日)(西都市)平成30年度宮崎県高等学校総合体育大会男子第71回・女子第33回県高等学校駅伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派遣について

西都市公認マラソンコースで開催される高校生の県大会で、開催地の西都市西児湯医師会に人選をお願いすることが承認された。

11. 11/11(日)(西都市)平成30年度宮崎県中学校駅伝競走大会開催に伴う医師及び看護師の派遣について

西都市公認マラソンコースで開催される中学生の県大会で、開催地の西都市西児湯医師会に人選をお願いすることが承認された。

12. 12/1(土)(西都市)平成30年度九州中学校駅伝競走大会開催に伴う医師及び看護師の派遣について

西都市公認マラソンコースで開催される中学生の九州大会で、開催地の西都市西児湯医師会に人選をお願いすることが承認された。

13. 8/31(金)(東京)平成30年度第2回医療政策研修会及び第1回地域医療構想アドバイザー会議の開催について

地域医療構想や医師確保に係る取組みの推進を目的に開催される研修会等で、地域医療構想アドバイザーの候補者となっている金丸常任理事を派遣することが承認された。

14. 有床診療所の病床設置等に関する特例の取扱いについて

既に医療審議会の議論を経て運用を行っているものについては、一般又は療養病床を問わず従来の運用を継続する。それ以外の病床設置及び増床については、知事が判断基準を各構想区域の調整会議と共有した上で、調整会議の協議を経たものについて、医療審議会の意見を聞き可否を判断することが承認された。

(報告事項)

1. 7月末日現在の会員数について
2. 8/7(火)(県医) 治験審査委員会について
3. 8/1(水)(県医) 生活習慣病検診各部長連絡会議について
4. 8/3(金)(国保連合会) 県国保連合会保健事業支援・評価委員会について
5. 8/4(土)(JA-AZM) 県プライマリ・ケア研究会 世話人会・総会・研修会について
6. 8/4(土)(県庁) 大規模地震時医療活動訓練について
7. 8/6(月)(県医) 臨床検査精度管理調査インターネット回答方法に関する説明会について
8. 8/4(土)・5(日)(県医) 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 8/25(土)(シーガイアコンベンションセンター) 安倍内閣総理大臣との懇談会について
7月の豪雨災害で中止となった懇談会で、佐々木(幸)常任執行委員が出席することに加え、宮崎市郡医師連盟に照会することが承認された。
2. 8/26(日)(宮観ホテル) 第2回参議院議員松下新平政経セミナーのご案内について
筑波大学大学院の久野譜也教授を講師に招き開催する政経セミナーで、協力することに加え山村常任執行委員が出席することが承認された。

3. 9/14(金)(宮観ホテル) 三師会懇談会の開催について

県薬剤師会の担当で開催される懇談会で、河野委員長、濱田・山村・吉田・小牧常任執行委員、荒木早苗先生で対応することが承認された。

4. 9/15(土)(メディキット県民文化センター) 自由民主党宮崎県政経セミナー 2018について

中谷元自民党安全保障調査会長を講師に招き開催される政経セミナーで、協力することに加え佐々木(幸)常任執行委員が出席することが承認された。

5. 9/30(日)(東京) 「桜井充と明日の医療を語る集い」のご案内について

行事の関係等で役員が対応することが困難なため、今回は協力を見送ることが承認された。

6. 「宮崎を元気にする会」寄付金の納入について

宮崎県の主要経済団体の政治連盟を中心に組織された会で、昨年に引き続き協力することが承認された。

平成30年8月21日(火)第12回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県障害者施策推進協議会委員の推薦並びに後任の就任承諾について
→障がい者に関する施策の総合的かつ計画的な推進を目的に設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、山村副会長を推薦することが承認された。
- ②宮崎県高齢者虐待防止連絡会議における委員の確認・推薦について
→高齢者の虐待防止策を総合的に推進することを目的に設置される連絡協議会

で、委員の確認依頼があり、介護保険担当の石川常任理事を推薦することが承認された。

2. 平成30年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

健康増進、疾病予防、生活衛生、衛生教育等の諸事業における功績が顕著な方に贈られる表彰で、年齢及び経験等を考慮し4名を推薦することが承認された。

3. 9/6(木)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

4 医療機関を対象に行われる個別指導で、小牧常任理事を立会人として派遣することが承認された。

4. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会から、小児在宅ケア検討委員会(プロジェクト)の委員に高村常任理事を委嘱したいとの依頼があり、本会として了承することが承認された。

5. 後援・共催名義等使用許可について

①10/13(土)(宮崎市民プラザ)第10回宮崎循環器市民講座の名義後援について

→「心不全～防ぐための生活習慣～」をテーマに開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

②10/21(日)(県総合保健センター)運動器の10年市民公開講座 ひむか骨と関節を考える会の名義後援について

→「動く喜び、動ける幸せ」をテーマに、3つの講演とロコモ体操を行う市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

③11/7(水)・8(木)(福岡国際会議場)「九州ホスピタルショウ2018」後援名義使用のお願いについて

→「九州発 病院から“まち”づくり～医療・福祉の未来を拓く～」をテーマに、

医療機器、設備等の展示を中心に開催されるイベントで、名義後援を行うことが承認された。

④11/17(土)・18(日)(宮大)第14回清花祭清武キャンパス医学展の名義後援について

→宮大医学部学生が医学・医療に関する展示発表を行う医学展で、名義後援を行うことが承認された。

⑤H31.2/2(土)(都城)日本医療マネジメント学会第12回宮崎県支部学術集会の後援名義依頼について

→「これからの医療連携の在り方」をテーマに開催される学術集会で、名義後援を行うことが承認された。

6. 2018宮崎県医師会会員名簿作成要領について

隔年で作成している会員名簿について、会員の意向を確認した上で、前回同様の形で作成することとなった。また、臨床研修医を中心とした会員数の増加にあわせ、例年よりも多く印刷することが承認された。

7. 9/13(木)(県医)宮崎県医療勤務環境改善セミナーについて

毎年開催している勤務環境改善セミナーについて、「今後の働き方改革について～36協定の結び方～」と題した講演と二つの事例発表で開催することが承認された。

(報告事項)

1. 8/8(水)(宮大医学部)県がん診療連携協議会について

2. 8/8(水)(支払基金)支払基金幹事会について

3. 8/19(日)(ニューウェルシティ宮崎)宮崎から医師を目指そう！フォーラムについて

4. 8/18(土)・19(日)(長崎)中四九地区医師会看護学校協議会について

5. 8/18(土)(県医)学校医部会総会・医学会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 9/4(火)(都城市総合文化ホール)「古川よしひさ時局講演会」のご案内について

入場無料で開催される時局講演会で、希望者は各自申し込むことが承認された。

2. 9/18(火)(日医)日本医師連盟における都道府県医師連盟委員長会議開催について

都道府県医師会会長協議会に引き続き開催される委員長会議で、河野委員長が出席することが承認された。

3. 9/18(火)(東京)敬人会夕食勉強会のご案内について

武見参議院議員を講師に「我が国の内政・外交国家ビジョンと国家の役割」と題し開催される勉強会で、協力することが承認された。

4. 9/18(火)(宮観ホテル)「山口那津男党代表との懇談会」のご案内について

公明党の山口党代表の来県にあわせ開催される懇談会で、経済団体10団体の代表者を中心に案内されているが、あいにく都道府県医師会会長協議会と重なるため参加を見送ることが承認された。

(報告事項)

1. 8/17(金)(宮観ホテル)衆議院議員 武井俊輔 国政報告会について

平成30年8月28日(火)第6回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①国立大学法人宮崎大学経営協議会委員の就任について

→大学に関連する重要事項の審議機関として設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き河野会

長を推薦することが承認された。

2. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会から、産業保健委員会の委員に佐々木(幸)常任理事を委嘱したいとの依頼があり、本会として了承することが承認された。

3. 9/20(木)(日南市)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

1 医療機関を対象とする個別指導で、立元理事を立会人として派遣することが承認された。

4. 12/7(金)(県医)向精神薬の長期処方に関する研修会について

不安又は不眠に係る適切な研修として、日本医師会の生涯教育制度のカリキュラムコード69(不安)及び20(不眠)を満たす研修会を、テレビ会議を用いて開催することが承認された。

5. 第118回九州医師会連合会総会における「宣言・決議(案)」について

11月17日に鹿児島市で開催される九医連総会に上程される宣言等の原文で、役員に意見を确认后、修正等があれば9月4日の常任理事協議会で再協議することが承認された。

6. 「九州医師会連合会平成30年度第1回各種協議会」の提案事項に対する回答について

九州各県医師会から出された提案事項に対する回答依頼で、地域医療対策は金丸常任理事、医療保険対策は小牧常任理事、介護保険は石川常任理事が中心となって取りまとめを行い、9月7日の期日までに回答することが承認された。

7. 第40回産業保健活動推進全国会議の開催について

産業保健活動の在り方について検討することを目的に開催される全国会議で、佐々

木(幸)常任理事の参加と県内4か所の地域産業保健センターに案内することが承認された。

8. 母体保護法不服審査委員会の委員について

指定に関して不服を有する医師に対し公平にその意見を徴して審査を行うために設置される委員会で、委員長、副委員長を含む7名の委員とすることが承認された。

9. 第30回日本医学会総会2019中部について

名古屋大学の齋藤英彦名誉教授が会頭となり、「医学と医療の深化と広がり～健康長寿社会の実現をめざして～」をメインテーマに開催される医学会総会で、事前参加登録等の推進に協力することが承認された。

10. 9・10月の行事予定について

9月の追加行事について確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 8/25(土)(鹿児島)九医連常任委員会について

3. 8/27(月)(県庁)県立病院事業評価委員会について

4. 平成30年度7月豪雨に対する支援金について

5. 8/25(土)(鹿児島)九医連定例委員総会について

6. 8/22(水)(県医)広報委員会について

7. 8/24(金)(県医)保育事業養成講座について

8. 8/25(土)(県医)在宅医療協議会役員会・総会・研修会について

9. 8/26(日)(県医)地域包括加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会について

10. 8/8(水)(県医)国保に係る九州厚生局・県による指導監査について

11. 8/21(火)(宮崎市)社会保険医療担当者の監査について

12. 8/18(土)(宮観ホテル)母体保護法指定医師研修会について

13. 8/18(土)(県医)産業医研修会(前期)について

14. 8/23(木)(延岡市)社会保険医療担当者の個別指導について

15. その他

① 9/1(土)(県医)宮崎県医師会医学会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会

(報告事項)

1. 8/28(火)(宮観ホテル)医協理事会について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 8/26(日)(宮観ホテル)衆議院議員松下新平政経セミナーについて

2. 8/25(土)(鹿児島)九州医連連絡会執行委員会について

3. 8/25(土)(シーガイア)安倍内閣総理大臣との懇談会について

県 医 の 動 き

(9月)

1	県医師会医学会(会長他) 全国国保組合協会九州支部幹事会・総会 (秦理事長)	19	辞令交付式(会長)
3	宮大医学部5年生未来の医療を語る全員交流会(会長他)	20	(東京)全国国保組合協会理事長・役員研修会 (秦理事長) (日南市)社会保険医療担当者の個別指導 (立元理事) 県産婦人科医会常任理事会(嶋本理事)
4	治験審査委員会(荒木常任理事他) 辞令交付式(会長) 第13回常任理事協議会(会長他)	21	広報委員会(荒木常任理事他)
6	社会保険医療担当者の個別指導 県衛生環境研究所調査研究評価委員会 (高村常任理事) 保育支援事業打合せ会(荒木常任理事)	22	全国医師会医療秘書学院連絡協議会会計監査 (山村副会長) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会医療保 険請求事務実技試験委員会(会長他) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委 員会(会長他) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総 会・運営委員会(会長他) 医療現場のワークライフバランスセミナー (荒木常任理事他)
7	宮崎銀行経営説明会(会長) 認知症サポート医フォローアップ研修会 (TV会議)(石川常任理事)	25	医協理事会(河野理事長他) 医協理事・運営委員合同協議会(河野理事長他) 第7回全理事協議会(会長他)
8	産業医研修会(前期) 県産婦人科医会秋期総会 園医部会総会・研修会(TV会議)(会長他)	26	労災診療指導委員会(川野理事)
10	県糖尿病対策推進会議幹事会(会長他)	27	県地域医療対策協議会(会長) (日医)日医医療秘書認定試験委員会 (池井常任理事) 社会保険医療担当者の集団的個別指導 (石川常任理事)
11	土曜会(報道機関支局長の会)との意見交換会 (会長他)	28	地域医療現場における働きやすい環境を考 える会(荒木常任理事) 治験セミナー(TV会議)(荒木常任理事他) 損保ジャパン日本興亜との懇談会(会長他) 県整形外科医会 保険審査委員打合せ会議 (川野理事)
12	社会保険医療担当者の監査(荒木常任理事) 支払基金幹事会(会長) 広報委員会(荒木常任理事他)	29	県有床診療所協議会総会・講演会(会長他) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会 理事会(石川常任理事) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会 管理者研修会
13	社会保険医療担当者の監査(岩村理事) 医療勤務環境改善セミナー(会長他)		
14	三師会懇談会(河野委員長他)		
15	保育支援事業スキルアップ研修会/全体顔 合わせ会(荒木常任理事) 自由民主党宮崎県政経セミナー2018 (佐々木常任執行委員) 日医生涯教育協力講座セミナー(TV会議) (会長他)		
18	(日医)都道府県医師会長協議会(会長) (日医)都道府県医師連盟委員長会議 (河野委員長) 第14回常任理事協議会(山村副会長他)		

9月のベストセラー（宮崎県）

集計：2018年9月1日～9月25日

1	大家さんと僕	矢 部 太 郎	新 潮 社
2	極上の孤独	下 重 暁 子	幻 冬 舎
3	かみさまは小学5年生	す み れ	サンマーク出版
4	コンビニ人間	村 田 沙 耶 香	文 藝 春 秋
5	コーヒーが冷めないうちに	川 口 俊 和	サンマーク出版
6	人魚の眠る家	東 野 圭 吾	幻 冬 舎
7	昭和の怪物 七つの謎	保 阪 正 康	講 談 社
8	花だより	高 田 郁	角川春樹事務所
9	頭に来てもアホとは戦うな！	田 村 耕 太 郎	朝日新聞出版
10	シルバー川柳⑧	全国有料老人ホーム協会	ポ プ ラ 社

明林堂書店調べ 提供：本郷店(宮崎市大字本郷北方) ☎(0985)56-0868

訂正

日州医事 第829号（平成30年9月発行）の裏表紙目次に誤りがございました。

随筆「International Social Dance（社交ダンス）のススメ」の執筆者を大西雄二先生と記載しておりましたが、正しくは岩村威志先生でした。

お詫びして訂正させていただきます。

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成30年9月10日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 4人

1) 男性医師求職登録数 4人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
内 科	3	1	2
老 健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 65人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 30 年 度	1	2	3
平成16年度から累計	47	18	65

3. 求人登録 93件 345人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	103	79	24	消 化 器 外 科	4	2	2
外 科	30	24	6	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	26	22	4	健 診	8	5	3
精 神 科	14	13	1	泌 尿 器 科	2	1	1
脳 神 経 外 科	12	8	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	10	7	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	15	12	3	皮 膚 科	5	2	3
麻 酔 科	13	10	3	婦 人 科	2	2	0
眼 科	9	6	3	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	11	10	1	人 工 透 析	7	5	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ 科	1	1	0
呼 吸 器 科	3	3	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科・内 科	3	3	0	診 療 科 目 不 問	3	3	0
神 経 内 科	8	6	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	10	9	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	1	1	0
リハビリテーション科	4	4	0	そ の 他	11	8	3
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	345	270	75

求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌糖内,呼内,リウ, 神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮 崎 市	内,小,整(いずれか)	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮 崎 市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230184	グリーンケア学園木花台	宮 崎 市	内	1	非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮 崎 市	眼	1	非常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮 崎 市	眼	2	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	内	1	非常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	外	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	4	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内,胃内,消内,呼内,循内 (いずれか)	1	非常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,麻	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外, 眼,健診	13	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設 なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内	1	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230166	医)秀英会 介護老人保健施設 長寿の里	串 間 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 日南春光会病院	日 南 市	外,内	4	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放	5	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成30年9月10日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ：2,022.17㎡(612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡(691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡(424.38坪) 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡(603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者：(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡(1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡(250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡(501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 2階 338.70㎡ } 829.40㎡(251.33坪) 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり(50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡(265.15坪) 建物：木造瓦葺平家建 1階 114㎡(34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先 **ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179
E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

き
り
と
り
せ
ん

お名前： _____

ご所属： _____

TEL： _____ FAX： _____

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年 9 月26日

10				月			
1	月	19：00	県プライマリ・ケア研究会学術 広報委員会	15	月		
				16	火		
2	火	18：30 19：00	第8回全理事協議会 宮崎大学医学部教授等と県医師 会役員等との懇談会	17	水	16：00 17：30 19：00	宮崎県町村会政策懇談会 宮崎県町村会意見交換会 宮崎市郡医師会10月例会並びに しのめ医学会特別講演会
3	水	10：00 14：00	(日医)日医社会保険指導者講習会 (日医)日医産業保健委員会	18	木		
4	木	10：00 19：00	(日医)日医社会保険指導者講習会 健康スポーツ医学委員会	19	金	12：30 13：30	(佐賀)全国医師国保組合 連合会代表者会 (佐賀)全国医師国保組合 連合会全体協議会
5	金			20	土	14：00 14：30 15：00 16：30	かかりつけ医認知症対応力 向上研修会(TV会議) 産業医研修会(実地) (鹿児島)九州各県内科医会 協議会諸行事 (福岡)九州医師協同組合 連合会通常総会
6	土	11：00 15：00 16：00 16：00 18：10	アイバンクサポーター講習会 県警察医会総会・特別講演会 (鹿児島)九医連常任委員会 (鹿児島)九医連第1回各種協議会 (鹿児島)九医連各種協議会報告会	21	日	9：00 14：00	(福岡)九州医師協同組合 連合会通常総会 県小児科医会子どもの健康セミナー
7	日			22	月	19：00	女性医師委員会
8	月		(体育の日)	23	火	18：15 19：00	医協理事会 第15回常任理事協議会
9	火	13：30 17：30 18：30 19：20	みやざき愛の献血運動推進県民 大会 治験審査委員会 第9回全理事協議会 各都市医師会長協議会	24	水	17：00 19：00	県訪問看護ステーション連絡協 議会役員会 広報委員会
10	水	12：30 14：00 14：00 14：30 16：00	(日医)日医勤務医委員会 宮崎大学医学部解剖体追悼式 (日医)都道府県医師会情報シス テム担当理事連絡協議会 (日医)日医医師会共同利用施設 検討委員会 支払基金幹事会	25	木	19：00	健康教育委員会
11	木	13：00 14：00 19：30	(日医)産業保健活動推進全国会議 労災診療費算定実務研修会 県産婦人科医会常任理事会	26	金	17：00	(鹿児島)九医連学校医会 評議員会・総会
12	金	14：00 14：00 19：00	労災診療費算定実務研修会 (日医)日医小児在宅ケア検討委員会 広報委員会	27	土	10：00 16：00	(鹿児島)全国学校保健・学校 医大会(兼九州ブロック学校 保健・学校医大会) 県整形外科医会研修会
13	土	9：00 16：00	ICLS指導者養成ワークショップ 病院部会・医療法人部会合同研修会	28	日	9：30 10：30 11：30	(鹿児島)九州学校検診協議会 専門委員会 (福岡) eレジフェア (鹿児島)九州学校検診協議会 幹事会
14	日	8：30 9：00 10：00 12：00 13：00 14：00	ACLS研修会 (日医)JMAT研修 基本編 宮崎市郡医師会病院等移転新築 工事起工式 県小児科医会役員会 (日医)医療安全推進者養成講座講習会 県小児科医会秋季学術講演会	29	月	9：10 19：00	医療保険請求事務実技試験 勤務医部会理事会
				30	火	13：30 17：00	県高齢者虐待防止連絡会議 地域医療における働きやすい環 境を考える会学生向けセミナー
				31	水	15：00	労災診療指導委員会

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年 9 月26日

11			月		
1	木	9 : 05 医療保険請求事務実技試験 13 : 00 医療保険請求事務実技試験 13 : 00 (日医)日医設立記念医学大会	16	金	16 : 00 (鹿児島)九医連常任委員会 17 : 00 (鹿児島)九医連臨時委員総会
2	金		17	土	8 : 00 県産婦人科医会 ALSOプロバイダーコース 10 : 00 (鹿児島)九医連委員・ 九州各県役員合同協議会 13 : 00 (鹿児島)九州医師会総会・医学会
3	土	(文化の日) 8 : 30 県医親善ゴルフ大会 10 : 00 (長崎)全国医師会勤務医部会連絡協議会 16 : 00 (北海道)全国医師協同組合連合会通常総会	18	日	8 : 00 県産婦人科医会 ALSOプロバイダーコース (鹿児島)九医学分科会・記念行事
4	日		19	月	19 : 00 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診 研修会)(TV会議)
5	月	19 : 00 県産業保健連絡協議会・県産業 医研修連絡協議会(三者協議会)	20	火	15 : 00 (日医)都道府県医師会長協議会
6	火	18 : 00 治験審査委員会 19 : 00 第16回常任理事協議会	21	水	19 : 00 広報委員会
7	水		22	木	
8	木	18 : 30 宮崎銀行との懇親会 19 : 30 県産婦人科医会常任理事会	23	金	(勤労感謝の日) 9 : 00 医療メディエーター研修会(基礎編)
9	金	15 : 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会 19 : 00 県外科医会秋期講演会	24	土	9 : 00 医療メディエーター研修会(基礎編)
10	土	14 : 00 (長崎)女性医師支援センター事業九州ブロック会議 14 : 30 産業医研修会(TV会議)	25	日	12 : 30 (東京)全国医師会・医師連盟 医療政策研究大会
11	日	13 : 30 世界糖尿病デー市民公開講座	26	月	19 : 00 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診 研修会)(TV会議)
12	月	14 : 00 労災診療費算定実務研修会	27	火	19 : 00 第11回全理事協議会※予定
13	火	18 : 30 第10回全理事協議会 19 : 20 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	28	水	15 : 00 労災診療指導委員会
14	水	16 : 00 支払基金幹事会 19 : 00 広報委員会	29	木	13 : 00 情報通信訓練/衛星利用実証実験(南海トラフ大震災想定訓練) (日医TV会議) 19 : 00 県感染症危機管理研修会・予防 接種実務担当者研修会(TV会議)
15	木	19 : 00 日医社保指導者講習会復講(TV会議)	30	金	15 : 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会 19 : 00 認知症サポート医フォローアップ研修会(TV会議)

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード(当日，参加証を交付)

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第27回児湯内科医 会学術講演会 10月2日(火) 19:10～20:10 ホテル四季亭	宮崎県における肝炎診療の現状と今後の課題(仮) 宮崎大学医学部附属病院 肝疾患センター 准教授 永田 賢治	8 (0.5) 27 (0.5)	◇主催 児湯内科医会 ◇共催 アッヴィ合同会社 (連絡先) 児湯医師会 ☎0983-22-1641
第63回ひむか運動 器セミナー 10月3日(水) 19:30～21:00 宮崎観光ホテル 参加費：500円	進化するリウマチ治療と課題 ーより多くの患者さんをより良くするにはー 香川大学医学部 血液・免疫・呼吸器内科学 准教授 土橋 浩章	59 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 ひむか運動器セミナー ◇共催 ※日本イーライリリー(株) ☎092-724-0450
宮崎県医師会産業 医研修会 10月4日(木) 19:00～21:00 県医師会館	長時間労働者の面接指導 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の实地研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
延岡医学会学術講演会 10月5日(金) 19:00～20:30 エンシティホテル 延岡	延岡における地域医療(循環器)の現状 ーいち勤務医になって感じていることー 共立病院 副院長 赤須 晃治	12 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 大塚製薬(株) ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	新しい心不全診療ガイドラインを使ってうっ血を診る 北里大学北里研究所病院 循環器内科 教授 猪又 孝元	24 (0.5) 45 (0.5)	
宮崎県警察医会特別講演会 10月6日(土) 15:30～17:00 県医師会館	内因性急死について 久留米大学医学部 法医学講座 教授 神田 芳郎	16 (0.5) 17 (0.5) 44 (0.5)	◇主催 宮崎県警察医会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
日向地区C型肝炎治療セミナー 10月10日(水) 18:50～20:00 ホテルベルフォート日向	C型肝炎における最新の治療とハーボニー配合錠の治療成績 宮崎大学医学部附属病院 肝臓内科 大園 芳範	1 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0985-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡内科医会 ギリアド・サイエンシズ(株)
第8回在宅医療実践のための多職種協働研修会 10月11日(木) 19:00～21:00 県医師会館	退院カンファレンスから在宅看取りまでの28日間 ー多職種が集結すればここまでできるー 城ヶ崎訪問看護ステーションなのはな 所長 長瀬 奈保美 看護師 細川 優子 クリニックうしたに 院長 牛谷 義秀 副院長 松崎 泰憲	81 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎市郡内科医会 学術講演会 10月12日(金) 19:00～20:10 ホテルスカイタワー	クレアチニンクリアランスから見た心房細動患者のリスク ー伏見FAレジストリの成り立ちとそこからの知見ー 京都医療センター循環器内科 医長 阿部 充	42 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
宮崎市郡在宅医会 学術講演会 10月13日(土) 17:45～19:30 MRT-micc	在宅医療における高齢者排尿管理のポイント 村岡泌尿器科内科 院長 村岡 敬介 ----- 京都府における医介連携SNS 京あんしんネットの現状と課題 京都府医師会 理事 松田 義和	65 (0.5) 80 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 ◇共催 アステラス製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
平成30年度宮崎県 小児科医会秋季学 術講演会 10月14日(日) 14:00～17:00 ホテルメリージュ	小児在宅医療アンケート調査結果について ゆげ小児科・弓削整形外科院長 弓削 昭彦 ----- 災害時小児周産期リエゾンについて 一大規模災害訓練に参加してー 宮崎県立宮崎病院 小児科部長 中谷 圭吾 ----- 学校突然死ゼロに向けて 東京慈恵会医科大学 救急医学講座 教授 武田 聡 ----- ホームにたどり着いた子どもの家族再統合への取り組み 自立援助ホーム「ウィング・オブ・ハート」 ホーム長 串間 範一	80 (0.5) 14 (0.5) 44 (1.0) 72 (1.0)	◇主催 宮崎県小児科医会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-23-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
南那珂医師会生涯 教育医学会 10月15日(月) 18:50～20:00 南那珂医師会館	慢性疼痛患者におけるデュロキセチンの使用経験 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 整形外科科学分野 助教 比嘉 聖	60 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 塩野義製薬(株)
宮崎市郡医師会10 月例会並びにしの のめ医学会特別講 演会 10月17日(水) 19:00～21:30 宮崎観光ホテル	宮崎における卒前・卒後一貫医学教育の理想的な形とは？ 宮崎大学医学部 医療人育成支援センター 教授 小松 弘幸	0 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
宮崎県皮膚科医会 学術講演会 10月18日(木) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル	アトピー性皮膚炎における生物学的製剤の使用経験 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 皮膚科学分野 医員 西川 陽太郎	7 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※サノフィ(株) ☎0120-852-297
	アトピー性皮膚炎の病態と治療 ーTh2サイトカインを中心にー 大分大学医学部 皮膚科学講座 教授 波多野 豊	8 (0.5) 26 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 10月18日(木) 19:00～21:00 県医師会館	行動変容を起こすー交渉術ー 産業保健相談員 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第52回宮崎県核医学研究会 10月19日(金) 18:30～20:15 宮崎観光ホテル	骨SPECT/CTの収集時間が定量解析に及ぼす影響 宮崎大学医学部附属病院 放射線部 松岡 孝洋 骨転移のある去勢抵抗性前立腺癌治療薬における画像評価 宮崎県立宮崎病院 放射線科 副部長 山口 健一郎	9 (0.5)	◇主催 宮崎県核医学研究会 ◇共催 ※日本メジフィジックス(株) ☎099-805-2005
参加費:500円	核医学の将来展望－Theranosticsを中心に－(仮) 東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 画像診断・核医学分野 教授 立石 宇貴秀	1 (0.5) 12 (0.5)	
西都市西児湯内科医会学術講演会 10月19日(金) 19:00～20:10 西都市西児湯医師会館	慢性疼痛と神経障害性疼痛 宮崎大学医学部附属病院 整形外科 助教 黒木 修司	60 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 西都市西児湯内科医会 ◇共催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 エーザイ(株) ファイザー(株)
日向地区病診連携講演会 10月19日(金) 19:00～20:30 千代田病院	がん支持療法における漢方の有用性(仮) 国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野 分野長 上園 保仁	21 (0.5) 83 (0.5)	◇主催 千代田病院 ◇共催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡薬剤師会 (株)ツムラ
延岡医学会学術講演会 10月19日(金) 19:00～20:40 エンシティホテル 延岡	アルツハイマー型認知症の診断を主体として疾患の鑑別を考える 吉田病院 認知症疾患医療センター センター長 富田 精一郎 今求められる認知症多職種連携と薬物療法への期待 あずま通りクリニック 院長 小林 直人	29 (0.5) 10 (0.5) 13 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 小野薬品工業(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
平成30年度かかりつけ医認知症対応力向上研修会【ＴＶ会議】 10月20日(土) 14:00～17:30 宮崎県医師会館 【ＴＶ会議会場：都城、延岡、児湯、西都、南那珂、西諸】	かかりつけ医の役割 野崎病院認知症疾患医療センター 倉増 亜紀	4 (0.5) 29 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	診断と治療 野崎病院認知症疾患医療センター センター長 宇田川 充隆	12 (0.5) 29 (0.5)	
	連携と制度 宮崎県福祉保健部 長寿介護課 医療・介護連携推進室 大岩根 綾	13 (0.5) 29 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 10月20日(土) 14:30～16:30 県医師会館 参加費：2,000円 (非会員)	保護具の取扱について 宮崎大学医学部 社会医学講座 公衆衛生学分野 教授 黒田 嘉紀 基礎研修の实地研修会：2単位 生涯研修の实地研修会：2単位	0 (0.5) 1 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第59回 宮崎県スポーツ学会 10月20日(土) 15:00～18:30 宮日会館 参加費：1,000円	MSIアプローチによる運動機能評価の実際 千葉メディカルセンター リハビリテーション科 科長 鈴木 勝	11 (0.5) 19 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 久光製薬(株) ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
	スポーツ眼科 えだがわ眼科クリニック 院長 枝川 宏	36 (0.5) 37 (0.5)	
	スポーツ傷害に対する診断、治療のピットフォール 東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 准教授 舟崎 裕記	61 (0.5) 62 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第180回 宮崎県眼科医会講習会 10月20日(土) 16:10～18:20 宮崎観光ホテル 参加費:3,000円	黄斑疾患の診断と治療 大分大学医学部 眼科学講座 准教授 木 許 賢一	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 アルコンファーマ(株)
	点眼剤を創る時の話 大阪大谷大学薬学部 医薬品開発学講座 教授 中田 雄一郎	36 (1.0)	
宮崎県精神科診療所協会学術講演会 10月20日(土) 18:50～20:00 KITEN	認知症BPSDに対する薬物療法と非薬物療法 ー包括的医療と病診連携の重要性ー 順天堂大学医学部 精神医学講座 教授 新井 平伊	29 (1.0)	◇主催 宮崎県精神科診療所協会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 細見クリニック ☎0985-35-1100
平成30年度第2回 宮崎県緩和ケア研究会 10月21日(日) 9:00～17:30 国立病院機構都城医療センター	e-learningの復習・質問 聖路加国際病院 緩和ケア科 部長 林 章敏	2 (0.5)	◇主催 ※都城医療センター ☎0986-23-4111
	コミュニケーション 宮崎大学医学部附属病院 臨床神経科 臨床神経科学講座 講師 船橋 英樹	4 (0.5) 5 (0.5)	
	全人的苦痛に対する緩和ケア 聖路加国際病院 緩和ケア病棟 緩和ケア科 部長 林 章敏	69 (0.5) 45 (0.5) 50 (0.5)	
		53 (0.5)	
	療養場所の選択と地域連携 藤元総合病院 在宅療養科 部長 馬見塚 勝郎	68 (0.5) 70 (0.5) 81 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎市郡外科医会 秋期講演会 10月22日(月) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル	最近の膵癌治療と当院での取り組み 社会医療法人同心会 副理事長 古賀総合病院 外科 古賀 倫太郎	51 (0.5) 59 (0.5)	◇主催 宮崎市郡外科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
第130回宮崎市郡 医師会病院心臓病 研究会 10月23日(火) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル	IMPELLAが著功し、救命し得た心原性ショック合併 STEMIの2症例－IMPELLAをSTEMIにどう使う か？－ 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 医長 小岩屋 宏 ----- 米国Cedars-Sinaiメディカルセンターにおける冠動 脈疾患－心不全および心弁膜症に対する心臓カテー テル治療の現状－ Assistant Professor of Medicine, UCLA school of Medicine and Cedars-Sinai Heart Institute, Cardiovascular Intervention Center, Cedars-Sinai Medical Center 中村 守男	9 (0.5) 15 (1.0)	◇主催 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 ◇主催 興和創薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 10月25日(木) 19:00～20:45 ガーデンベルズ小 林	高齢者心疾患を未然に防ぐ(仮) 鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学 教授 大石 充	73 (0.5) 74 (0.5) 76 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 第一三共(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 10月26日(金) 19:00～21:00 県医師会館	治療と職業生活の両立 産業保健相談員 宮崎大学医学部 患者支援センター長 鈴木 斎王 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第46回宮崎大腸肛 門疾患研究会(大 腸がん検診) 10月26日(金) 19:00～20:30 宮崎観光ホテル	大腸癌の治療(仮) 宮崎大学医学部附属病院 消化管・内分泌・小児外科 講師 池田 拓人	53 (0.5) (大腸)	◇主催 宮崎大腸肛門疾患研究会 ◇共催 ※協和発酵キリン(株) ☎0985-22-8801 ゼリア新薬工業(株)
	クローン病の肛門病変とその治療 JCHO東京山手メディカルセンター 大腸肛門病センター 医長 古川 聡美	54 (0.5) 55 (0.5)	
南那珂医師会地域 保健医学会 10月26日(金) 19:00～20:00 南那珂医師会館	地域包括ケアから地域共生社会への挑戦 ー認知症の人のよりよい人生のためにー 白川病院 医療連携室長 猿渡 進平	4 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411
宮崎県整形外科医 会研修会 10月27日(土) 16:00～18:00 県医師会館	平成30年度全国整形外科保険審査委員会議報告 県国民健康保険診療報酬審査委員 税所 幸一郎 県社会保険診療報酬支払基金審査委員 川野 啓一郎	9 (1.0)	◇主催 宮崎県整形外科医会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	地域包括ケアシステムにおける整形外科医の役割と骨 粗鬆症診療 国家公務員共済組合連合会 千早病院 整形外科部長 大石 正信	77 (1.0)	
平成30年度延岡医 学会総会 10月27日(土) 16:30～19:00 延岡市医師会病院	会員研究発表 集学的治療を行った肺癌症例の検討, 他 宮崎県立延岡病院 呼吸器外科 医長 能勢 直弘 他	24 (0.5)	◇主催 延岡医学会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
		53 (0.5)	
		57 (0.5)	
	特別講演 小児がん：さらなる治療成績向上を目指して 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 教授 盛武 浩	25 (0.5)	
		28 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第4回地域連携パスを考える会 11月1日(木) 19:00～20:25 都城ロイヤルホテル	あなたにもできる骨粗鬆症リエゾンサービス ー病院・診療所の役割と治療継続のコツー 鶴上整形外科リウマチ科 院長 鶴上 浩	61 (0.5) 77 (0.5)	◇主催 ※都城医療センター ☎0986-23-4111 ◇共催 中外製薬(株) ◇後援 都城市
第5回循環器医療連携の会 11月1日(木) 19:00～20:30 ホテルJALシティ宮崎	おさえておきたい心不全診療のポイント ーガイドラインを読み解くー 九州大学医学研究院 循環器内科学 教授 筒井 裕之	24 (0.5) 45 (0.5)	◇主催 古賀総合病院 ◇共催 ※大塚製薬(株) ☎0985-24-2287
宮崎県医師会産業医研修会 11月8日(木) 19:00～21:00 県医師会館	健康診断結果に基づく事後措置の事例検討 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の現地研修会：2単位	1 (0.5) 8 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県医師会
平成30年度宮崎県外科医会秋期講演会(日本臨床外科学会地方会) 11月9日(金) 19:00～20:00 県医師会館	日本臨床外科学会の活動と日本の医療情勢について(仮) 日本臨床外科学会 副会長 北多摩病院 院長 万代 恭嗣	6 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 宮崎県外科医会(連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-23-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医 研 修 会【TV会 議】 11月10日(土) 14:30～18:30 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸】	化学・生物テロ災害への最新の医療対応 横浜病院 病院長 首都大学東京 客員教授 箱崎 幸也	7 (0.5) 8 (0.5) 10 (0.5) 14 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	アルコールと健康：個別化健康増進に向けて 和歌山県立医科大学医学部 公衆衛生学教室 教授 竹下 達也	0 (0.5) 1 (0.5) 4 (0.5) 82 (0.5)	
	メカニクスから見た早期変形性膝関節症の病態と治療 介入の可能性 新潟医療福祉大学 健康科学部健康スポーツ学科 教授 大森 豪	61 (0.5) 62 (0.5)	
	肩の鏡視下手術の実際ースポーツ選手の治療を含むー 同愛記念病院 副院長 中川 照彦	57 (0.5) 61 (0.5)	
	成人脊柱変形に対するLIFとPPSによる変形矯正術 ーその理論と実際そして今後の展望ー 関西医科大学整形外科科学講座 教授 齋藤 貴徳	60 (0.5) 63 (0.5)	
第27回ひむか骨関 節・脊椎脊髄疾患 セミナー 11月10日(土) 15:25～19:00 宮崎観光ホテル 参加費:1,000円			◇主催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ◇共催 ※中外製薬(株) ☎0985-20-8118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月16日(金) 19:00～21:00 延岡市医師会病院	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 副院長 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎臨床リウマチ カンファレンス 11月16日(金) 19:00～20:20 ガーデンテラス宮 崎	新時代の関節リウマチ治療 慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科 教授	19 (0.5) 77 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※第一三共(株) ☎0985-23-5710
平成30年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (がん検診指定研 修会)【TV会議】 11月19日(月) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西 臼杵】	肺がんについて(仮) 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 別府 樹一郎 ----- 乳がんについて(仮) 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 大友 直樹 ----- 胃がんについて(仮) 宮崎大学医学部附属病院 がん診療部 助教 中島 孝治 ----- 大腸がんについて(仮) 潤和会記念病院 外科 部長 佛坂 正幸	7 (0.5) ⑦ 11 (0.5) ⑧ 12 (0.5) ⑨ 82 (0.5) ⑩	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第12回はまゆう整形外科セミナー 11月24日(土) 17:30～18:30 宮崎観光ホテル	手・手指骨折の外来診療 ー機能障害予防のためのポイントー くろき整形外科 院長 黒木 龍二	57 (0.5) 72 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部 整形外科教室同門会 ☎0985-85-0986
平成30年度宮崎県医師会生活習慣病検診従事者研修会(がん検診指定研修会)【TV会議】 11月26日(月) 19:00～21:00 県医師会館【TV会議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 西諸】	肺がんについて(仮) 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 別府 樹一郎	7 (0.5) (肺)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳がんについて(仮) 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 大友 直樹	11 (0.5) (乳)	
	胃がんについて(仮) 宮崎大学医学部附属病院 がん診療部 助教 中島 孝治	12 (0.5) (胃)	
	大腸がんについて(仮) 潤和会記念病院 外科 部長 佛坂 正幸	82 (0.5) (大腸)	
宮崎木曜会年末学術講演会 11月29日(木) 19:15～20:15 MRT-micc	理想の酸分泌抑制法 ー効果と安全性のバランスを求めてー 愛知医科大学 消化器内科 教授 春日井 邦夫	52 (1.0)	◇主催 宮崎木曜会 ◇共催 第一三共(株) ※アストラゼネカ(株) ☎092-283-8150

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第181回 宮崎県眼科医会講習会 12月1日(土) 16:20～20:30 宮崎観光ホテル 参加費:3,000円	ドライアイの診かた, 考えかた Up date 杏林大学医学部 眼科学教室 教授 山田 昌和	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬(株)
参加費:3,000円	眼科の仕事は, cureとcare 立川総合病院 眼科 主任医長 安藤 伸朗	36 (1.0)	
第77回宮崎整形外科懇話会 12月1日(土) 18:00～19:00 県医師会館 参加費:1,000円	脆弱性に伴う股関節周囲骨折に対する新しい治療法 久留米大学医学部 整形外科教室 教授 白濱 正博	57 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正富山医薬品(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
向精神薬の長期処方に関する研修会【TV会議】 12月7日(金) 19:00～21:00 県医師会館【TV会議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西臼杵(予定)】	不眠症治療の効率化を目指して 東京医科大学 睡眠学講座 教授 井上 雄一	20 (2.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県精神科医会 宮崎県内科医会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
平成30年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (がん検診指定研 修会)【TV会議】 12月15日(土) 15:00～17:00 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 西諸】	肺がんについて(仮) 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 別府 樹一郎	7 (0.5) (肺)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳がんについて(仮) 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 大友 直樹	11 (0.5) (乳)	
	胃がんについて(仮) 宮崎大学医学部附属病院 がん診療部 助教 中島 孝治	12 (0.5) (胃)	
	大腸がんについて(仮) 潤和会記念病院 外科 部長 佛坂 正幸	82 (0.5) (大腸)	

お知らせ

クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成30年5月1日より10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組めます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

診療メモ

ネットワークシステムを通した顔の見える周産期医療
ーサブスリーを目指してー宮崎市郡医師会病院 周産期母子医療センター センター長 おお はし まさ なお
大 橋 昌 尚

マラソンの実力評価として、「サブスリー」は一つの指標であると思います。ご存知のように42.195kmを3時間以内に完走することなのですが、3時間以内の完走者が男性フルマラソン完走者の3%弱しかないという意味もあるようです。この「サブスリー」は、周産期医療においても重要な指標となります。周産期医療の評価に周産期死亡率が指標として用いられています。これは、年間の1,000出産に対する周産期死亡数(妊娠満22週以降の死産数+生後1週未満の早期新生児死亡数)比率のことで、2000年は全国で5.8でしたが、2016年は3.5まで改善しています。周産期医療は、産科と新生児・小児科だけでなく、麻酔科、内科、外科などの他の診療科と共同で取り組む必要のある集学的医療のひとつです。この周産期死亡率の改善には、医療技術の発展だけでなく医療体制の整備が寄与しています。厚生労働省の周産期医療体制整備指針では、「都道府県において、地域の実状に即し、限られた資源を有効に生かしながら、総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターその他の地域における周産期医療に関連する病院、診療所及び助産所を整備する」と明記されています。この指針では、センターの施設数や施設基準条件だけでなく、病院間連携機能に関する内容も示されています。これにより、点(周産期センターや分娩取り扱い施設)が線(病院間連携)で結ばれるようにな

りました。東京都では、必ず患者搬送を受け入れる「スーパー総合周産期センター」や情報把握や搬送先選定業務を行う「周産期搬送コーディネーター」が設置されています。宮崎県地域の特徴として、南北に長く、中山間地域が多いため、交通事情が十分に発達していないことが挙げられます。このため、4つの周産期医療圏(県北、県央、県西および県南)を設定し、各医療圏において中核的な周産期医療を担う地域周産期母子医療センターを設置しました。具体的には、県北：県立延岡病院、県央：県立宮崎病院、古賀総合病院および宮崎市郡医師会病院、県西：国立病院機構都城医療センター、県南：県立日南病院です。これにより、全ての30分分娩取り扱い施設から1時間以内に周産期母子医療センターへ搬送可能となりました。そして、最後の砦として宮崎大学総合周産期母子医療センターを設置することで、県内全域の開業医の先生方のお手伝いを通して、宮崎県の周産期医療に日々従事するシステムを、池ノ上克宮崎大学学長、鮫島浩宮崎大学附属病院病院長を中心としてこの20年余りの時間を費やし構築してきました。

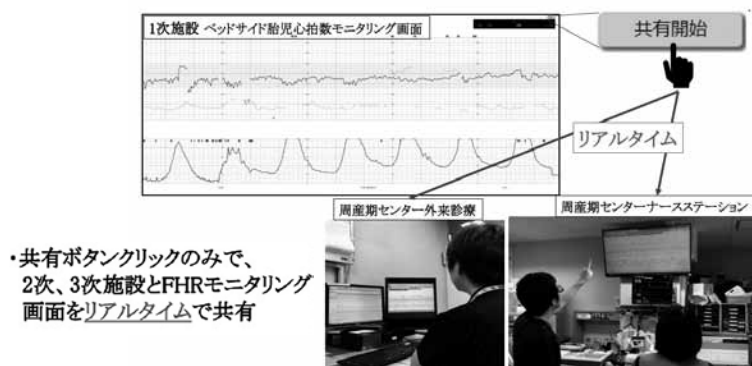
ヒトとモノが限られている地方においても、上記のような効率的なシステムを構築することで、宮崎の周産期死亡率は1995年には全国最下位(7.5)であったものが、2017年には2.5まで改善し全国1位となりました。一方で、2009年1

月から導入された、産科医療補償制度により日本の周産期医療の問題点が徐々に明らかにされてきました。この制度は、分娩関連の重度脳性麻痺患児の経済的負担を速やかに補償するとともに、脳性麻痺発症の原因分析と再発防止に資する情報を提供することで、医事紛争の防止・早期解決および産科医療の向上を図ることを目的として設立されました。毎年再発防止に関する報告書・提言が示されているのですが、この中で胎児心拍数モニタリングの重要性と判読の困難に関しての報告が繰り返されています。現在の日本において、胎児心拍数モニタリング下での分娩管理は、ほぼ全例になされていますが、そのモニタリングの判読が十分にされていないと結論づけられています。すなわち、成人の胸痛に対して心電図を施行するも、ST変化が判読できていないことと同じになります。再発防止に関する報告書では、「判読能力を高めるために勉強会や講習会への参加、胎児生理学を理解したうえで胎児心拍数モニタリングから胎児状態を推測する」などの提言がなされています。

しかしながら、分娩時ベッドサイドにいる医師、助産師および看護師のみで、胎児心拍数モニタリングの的確な判読を行うには限界があります。ご存知のように分娩を取り扱う産科医の減少と高齢化、地方における助産師および看護師不足が背景として挙げられます。このような限られた状況の中で、既存のシステムを用いてよりの確な胎児心拍数モニタリング判読を行

い、周産期死亡率の更なる改善を目的とするために、2011年から県西地区を皮切りに、地域胎児心拍数共同監視システムを導入しました。具体的には、インターネットを用いて、分娩時胎児心拍数モニタリングを分娩している施設だけではなく、地域および総合周産期母子医療センターと共有します。複数の医師、スタッフ間で胎児心拍数モニタリングを共有することで、よりの確な判読を行い、適切な周産期管理を行うことを目的としています。図に示しますように、簡単なクリックのみでリアルタイムに胎児心拍数モニタリングを共有し、開業医の先生方と相談しながら、適切な分娩管理を行っています。県西地区は同システム導入により、分娩時低酸素血症の症例が有意に減少したという成果を認め、論文として発表しています(Kaori Michikata et al. Journal of Pregnancy, 2016)。

宮崎の周産期医療の現状と、更なる改善を目指した、ネットワーク医療の導入を紹介させていただきました。重要なことは、ネットワーク医療を導入する以前に、平時から顔の見える医療を行うシステムがすでに構築されているため、このネットワーク医療が有効に機能しているということです。今後とも、地域の先生方と一緒に、常に周産期死亡率サブスリーを維持する高いレベルの医療を、宮崎県全ての方々に提供することを目指しております。今後とも、ご指導よろしくお願いいたします。



宮大医学部学生のページ



カリキュラム変更と学生会の役割

宮崎大学医学部医学科 5年 ^{やま}山 ^{した}下 さくら

平成26年度(2014年度)から宮崎大学では、大幅な医学教育改革、カリキュラム改革が行われています。例えば臨床実習期間の延長です。以前は5学年の4月から行われていたクリニカルクラークシップⅠを4学年の11月から、クリニカルクラークシップⅡを5学年の11月から始め、16週の臨床実習が追加でカリキュラムに取り込まれました。これによりクリニカルクラークシップⅡの期間が56週間から72週間に延長されています。また、この改革に当たり、2016年度よりカリキュラム委員会が立ち上がり、その委員の中には学生を代表して宮崎大学医学部学生会の学生も参加しています。

このような改革は現在日本国内全ての医学部で進められています。その理由としては、アメリカの外国人医師の適性を証明する非営利団体ECFMG (Educational Commission For Foreign Medical Graduates) による国際認証を受けるため、世界医学教育連盟(WFME; World Federation for Medical Education)が定めたグローバルスタンダードを、2023年までに満たさなければならないということがあります。このグローバルスタンダードの中に「臨床

実習を72週間以上行うこと」「医学生が医学教育改革に参画すること」が含まれているのです。

この一連の改革を受けて臨床実習の魅力が大きく高まったと感じます。自分自身が実習に参加する中で実感しているのは、実習を多く経験することで勉強へのモチベーションが高まるということです。その前の3年半で得た基礎的な知識が実際の医療の現場ではどういう風に役立つのかということがわかったり、どのように実習をすればそれらの知識を自分のものに活かしていけるのかが早い段階で分かった上で、さらに一歩進んだ段階であるクリニカルクラークシップⅡに臨めるのはとても有意義だと感じました。また、クリニカルクラークシップⅡの期間が長くなることで、自分がもっと学びたいと思った分野や興味を持った分野、あるいは苦手を克服したい分野をより多く選択できることもこの改革の魅力だと思います。

また、カリキュラム委員会の設立は宮崎大学の医学教育の大きな変換点となりました。私は学生会の執行委員として「学生がどう主体的に医学教育改革に関われるか」を他の学生とともに模索してきましたが、なかなかその案を学

校側に伝え協議し具現化するという過程を踏むのは難しく、これまで実現できずにいました。2016年度から始まった宮崎大学カリキュラム委員会には、学生会長および副学生会長がカリキュラム委員として出席しています。この委員会の中で、学生会が学生に対して行ったアンケートを集計・分析して提出することで、学生の総意としての医学生・看護学生の声を、教員・学校側に届けることができるようになりました。これにより、いくつかの学生の声が実際のカリキュラムに反映されるようになりました。

一方で、この大規模なカリキュラム改革によって医学生が困っていることも多くあります。例えば医学生から届いている意見(宮崎大学医学部学生会アンケートより)としては、「薬理学と生理学が同じ時期にあることで勉強しにくいと感じる」「2年次の試験が詰まっていた以前より負担になっていると思う」「実習する学生が多くなり、学生用控室の席数が足りなくなった」「実習が3月にも入ることによって5年直前

の春休みがなくなり病院見学に行けなくなってしまった」などがあります。実際に4年生の半ばから実習を始めるために基礎学習のカリキュラムも前倒しとなり、特に2～4年次の負担が以前より多くなってしまったりツギハギになっている部分があったりと、工夫をすれば学習効率を高められるような点はまだまだ多くあると思います。先生方やカリキュラム委員会もより学生が勉強しやすいような環境作りに日々励んでくださっています。カリキュラムの内容は大学ごとに異なるため、宮崎大学のカリキュラムの問題点は大学全体をあげて独自に解決していくしかありません。そして、実際にこのカリキュラムを経験している学生の感想・見解を学校側に伝え、よりよい方向に変えていくための意見を行っていくのは、カリキュラム委員会における私たち学生会の役割のひとつと認識しています。学生が意見できる場が用意された環境を存分に活かし、学生と教員が協働して、少しずつ改善していけたらと思っています。



お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課(TEL 0985-22-5118)にお問い合わせください。

またMMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
7月30日	・ A型肝炎患者の報告数増加に伴う注意喚起について ・ 平成30年度「災害医療救護通信エキスパート研修」の開催について ・ 「居宅介護住宅改修費及び介護予防住宅改修費の支給について」の一部改正について ・ 福祉用具の全国平均貸与価格及び貸与価格の上限の公表について ・ 特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律第3条第2項の規定に基づき、同条第1項の特定権利利益に係る期間の延長に関し当該延長後の満了日を平成30年11月30日とする措置を指定する件について ・ 平成30年度 日本医師会医療安全推進者養成講座「講習会」開催のご案内 ・ 高齢者に係る高額療養費制度の見直し等について
7月31日	・ 世界医師会(WMA)レイキャビク総会ツアーパンフレットの送付について ・ 「使用上の注意」の改訂について ・ 診療情報の提供等に関する指針について ・ 医療事故情報収集等事業「医療安全情報No140」の提供について ・ 平成30年7月豪雨により被災した障害者等に対する支給決定等について ・ 特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律第3条第2項の規定に基づき、同条第1項の特定権利利益に係る期間の延長に関し当該延長後の満了日を平成30年11月30日とする措置を指定する件について ・ 平成30年7月豪雨による災害についての特例非常災害及びこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令等について ・ 人生の最終段階における医療・ケアに関するリーフレットについて ・ 「患者の意向を尊重した意思決定のための指導者研修会」の実施について ・ 夏休みの海外渡航者に対する感染症予防啓発について ・ 熱中症予防の普及啓発・注意喚起について ・ コンゴ民主共和国におけるエボラ出血熱の終息宣言について ・ 平成30年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催案内及び周知の協力依頼について ・ 「病原微生物検出情報」の送付について ・ 特定医療法人に係る申請様式の改正について
8月1日	・ 平成30年度医療介護提供体制改革推進交付金(地域医療介護総合確保基金)交付要綱等について
8月2日	・ 消費税の軽減税率制度の対応の協力について
8月3日	・ 平成30年7月豪雨に関する診療報酬等の請求の取扱いについて(平成30年7月分) ・ 日本医師会作成「改定診療報酬点数表参考資料」正誤表の送付について

送付日	文 書 名
8月6日	・児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策等について ・エボラ出血熱に係る注意喚起について ・日本性感染症学会、厚生労働科学研究「性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究」班発行「梅毒診療ガイド(ダイジェスト版)」について ・平成30年介護サービス施設・事業所調査の協力依頼について ・在宅医療に係るアンケート調査の実施について ・介護医療院開設に向けた研修会開催のご案内について ・「若年性認知症の方を中心とした介護サービス事業所における地域での社会参加活動の実施について」のご送付について ・介護予防・日常生活支援総合事業費算定に係る体制届出について ・平成30年7月豪雨災害により被災した社会福祉施設等に対する関係団体の相談窓口について ・平成30年7月豪雨で被災した被保険者に係る利用料の負担等の取扱いについて(その6) ・平成30年7月豪雨で被災した被保険者に係る利用料の負担等の取扱いについて(その7) ・特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律等により延長された介護保険関係特定権利利益に関する事務取扱について ・「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」に関する質疑応答集(Q & A)について ・平成30年7月豪雨による被災地において医療用酸素ガスボンベの代わりに工業用酸素ボンベを用いて医療用酸素ガスを供給すること等について
8月7日	・第一回人獣共通感染症公開セミナー開催のご案内 ・医学獣医学部合同 One Health シンポジウム開催のご案内 ・平成30年度医療介護提供体制改革推進交付金(地域医療介護総合確保基金)の介護分の内示について(第1回目) ・平成30年7月豪雨で被災した被保険者に係る利用料の負担等の取扱いについて(その8) ・地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備に関する政令等の施行について ・平成30年度(第69回)全国労働衛生週間に関する協力依頼について ・平成30年度第3回看護師特定行為研修指導者講習会(熊本会場)案内の再度の周知について ・平成30年7月豪雨の発生に伴う医療関係職種等の国家試験の受験資格並びに学校、養成所及び養成施設の運営等に係る取扱いについて ・電子処方せんの運用ガイドラインの改正について ・健康保険法施行規則等の一部を改正する省令の公布について ・「医療法及び医師法の一部を改正する法律」の公布及び一部の施行等について ・医学部の臨床実習において実施可能な医行為について
8月8日	・公益信託美原脳血管障害研究振興基金平成30年度研究助成金(美原賞)候補者の推薦について ・がん検診の適切な実施体制について ・介護保険施設と併設する病院における医師等の員数の算定について ・介護医療院創設に伴う死亡診断書(死体検案書)の記入方法の変更について ・レジオネラ症を予防するために必要な措置に関する技術上の指針の一部改正について ・「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について
8月9日	・「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」等の一部改正について ・検査料の点数の取扱いについて ・平成30年度診療報酬改定関連通知の一部訂正の送付について(医療機器及び検査の保険診療上の取扱いに関する通知の訂正) ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する健康被害救済制度に関する集中広報の周知について ・「日本における倫理的連携のためのコンセンサス・フレームワーク」合意について ・平成30年度 死体検案研修会(基礎)の開催について

送付日	文 書 名
8月10日	・毎月勤労統計調査全国調査及び地方調査第一種事業所の事前調査への協力依頼について ・医療勤務環境改善支援マネジメントシステムのセミナー開催案内及びリーフレットの送付について ・第31回(平成30年度)健康スポーツ医学講習会の開催について
8月14日	・8月における労働者の熱中症予防の取組について ・「指定居宅サービス等及び指定介護予防サービス等に関する基準について」等の一部改正について ・平成30年7月豪雨による災害に係る介護報酬等の請求等の取扱いについて(7月サービス提供分) ・要介護認定情報・介護レセプト等情報の提供に関するガイドラインについて ・「病院・診療所及び社会福祉施設等に対する腰痛予防対策講習会」の周知依頼について ・高額介護(予防)サービス費の見直しにおける運用について ・平成30年度の医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査の実施について ・「難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する特定医療及び特定疾患治療研究事業による医療に関する給付の対象療養に係る高額療養費の支給に係る保険者との連絡等の事務の取扱いについて」の一部改正について ・平成30年度医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所調査結果および名簿の送付について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・「第9回在宅医療推進フォーラム in 福岡」へのご協力の依頼書 ・介護医療院の開設状況(平成30年6月30日時点)等について
8月15日	・国立がん研究センター「四肢軟部肉腫専門施設情報公開プログラム」平成30年度参加施設の募集について ・特定健康診査及び特定保健指導に係る自己負担額の医療費控除の取扱いの一部変更について
8月17日	・平成30年度ジェネリック医薬品軽減額通知の実施について
8月20日	・平成30年7月豪雨で被災した被保険者に係る利用料の負担等の取扱いについて(その9) ・風しんの届出数の増加に伴う注意喚起について
8月22日	・平成30年度税制改正における生産性向上特別措置法に基づく税制措置等について ・中小企業等経営強化法に基づく税制措置等について ・医療法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令の施行について ・医薬若しくは歯科医薬又は病院若しくは診療所に関する広告等に関する指針(医療広告ガイドライン)に関するQ&Aについて ・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No141」の提供について ・地域医療構想調整会議の活性化のための地域の実情に応じた定量的な基準の導入について
8月23日	・医療安全に関するワークショップの開催について
8月24日	・高齢者に係る高額療養費制度の見直し等について ・医薬品の封の取扱い等について ・県民一斉防災行動訓練「みやざきシェイクアウト」への協力について ・移植希望者(レシピエント)選択基準の一部改正について

送付日	文 書 名
8月27日	・平成30年度「防災週間」及び「津波防災の日」について ・厚生労働省「看護師の特定行為研修シンポジウム」の開催について ・インフルエンザに関する特定感染症予防指針の一部改正について ・人を発病させるおそれがほとんどないものとして厚生労働大臣が指定する病原体等の一部を改正する件の公布について ・福岡県医師会第16回「卒後臨床研修指導医ワークショップ」の開催について ・「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について
8月28日	・健康長寿推進企業等知事表彰の募集及び周知について ・神経麻酔分野の小口径コネクタ製品の切替えに関するPMDA医療安全情報の発行について ・「日本医師会 医療事故調査費用保険」の改定について ・医療機器に係る安全管理のための体制確保に係る運用上の留意点について ・超音波吸引器に係る「使用上の注意」の改訂について ・特定健康診査・特定保健指導の実施状況の公表方法等について ・がん診療連携拠点病院等の整備について ・病院前医療体制充実強化事業(救急救命士が行う救急救命処置に関する検討事業)に係る提案の募集について ・がん検診の適切な実施体制について ・小児がん拠点病院の整備について
8月29日	・NBCR対策推進機構 第5回「爆発物災害対策担当者養成講習会」の開催について
8月30日	・病院等の勤務環境に関するアンケート調査について
8月31日	・平成30年度「いいお産の日 in 宮崎」ポスターの送付について ・平成30年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いの周知について ・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・「全国医師会・医師連盟 医療政策研究大会」開催について
9月3日	・医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・平成30年度文部科学省補助事業アレルギー講習会(学校における普及啓発講習会)の開催について ・平成30年度公益財団法人日本学校保健会事業 学校における飲酒防止教育支援研修会の開催について ・MSD社の製造する組換え沈降B型肝炎ワクチンに関する副反応疑い報告の記載について ・インフルエンザに関する特定感染症予防指針の一部改正について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・医療法人設立認可一覧・医療法人解散認可一覧(平成30年8月30日認可) ・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤(オプジーボ点滴静注)に係る最適使用推進ガイドラインの一部改訂等に伴う留意事項の一部改正について ・ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤の医薬品医療機器法上の用法及び用量の一部変更について ・介護医療院創設に伴う死亡診断書(死体検案書)の様式改訂について
9月4日	・労働安全衛生規則等の一部を改正する省令等の施行について ・日本医師会JMAT研修について ・診療所における一般病床等の届出設置等に係る取扱要領の施行について ・第7回西予市お伊ね賞事業表彰式・日本医師会女性医師支援シンポジウム開催【平成30年11月18日(日)】のご案内について

あとかき



を確保した。皆さんおわかりと思うが、小学校の運動会の場所取りは戦争だ。今は場所取りの順番を決めるくじを引き、全員同時スタートということはなくなり、けが人が出ることもなくなった？が、場所をどこまで取るか、その境界線のことでもめているのを見たことがある(仲良くしてほしいものだ)。

そして、忘れてならないのがビデオ撮影だ。前日にバッテリーを充電しておくのだが、今回はうっかり忘れてしまい、当日の朝から充電。フル充電できないまま、徒競走を撮るべく撮影場所へ。娘の出番の前から録画しようと電源を入れたら何と、「空き容量がありません」とコメントが…万事休す。仕方ないので、私の眼に焼き付けた。娘に「お父さんの眼に録画したからね」と伝えたところ、「はあ？」と返答されたが当然である。

今まで20年近く、子どもの運動会を経験させてもらった。その子どもたちも次々と我が家を巣立っていく。小さい頃の映像を残して。まだこれから何回もビデオを撮ることになるだろう。準備万端で臨みたいと思う。(山崎)

* * * * *

USJに行ってきました。若い頃は絶叫マシン好きで静岡の富士急ハイランドやラスベガスのストラトスフィアタワーにも行きました。今回の目当てはフライングダイナソーというジェットコースター。混雑していましたので開門と同時に妻子をおいて約1kmを猛ダッシュし、その日の第一走、最前列を確保しました。息つく暇もなく背中を固定され、うつ伏せの状態ですり下げられ、全身むきだしの状態で空中高く上がり、急降下、高速回転、ひねりが連発するエキサイティングな体験でした。終了後はホテルの朝食バイキングで満腹食べたものが喉元までこみ上げ、期せずして逆流性食道炎の患者さんの苦しみまで体験できました。(稲倉)

* * *

妻はバルサミコ酢が大好きで、何にでもバルサミコ酢をかけて食べます。今朝もキウイフルーツにかけて食べていました。さらにそのまま飲むことさえあります。私はとんかつソース派です。天ぷらやから揚げ、カレーには必ずとんかつソースをかけて食べます。ところが妻にはそれが気に入らないらしく、先日カレーにソースをかけていたら「ちゃんとおいしいように考えて作っているのにそんな物をかけるなんて失礼じゃない？」と怒りながら自分はバルサミコ酢をかけていました。なんだかなー。(沖田)

* * *

最近AI関連の記事を目にすることが多い気がする。ある研究では、現在ある職業の半数が将来AIに取って代われるそう。だから、AIに関する批判的な書籍も多い。イギリスの産業革命時と同じ現象が起きるかもしれない。医療界でもAIは急速に浸透している。昨今のAIの技術革新をみると、近々、検診業務・診断・治療方針の決定などはAIが容易に代行できしうと感じざるを得ない。将来の医師の役割はなんであろうと模索中である。(植田)

先日、次女の中学生最後の運動会があった。運動会といえば、お昼のお弁当と場所取りとビデオ撮影だ。

前日、妻が腕によりをかけて、子どもたちの希望を取り入れたお弁当の下ごしらえを始めていた。屋外で食べる弁当は格別だ。アルコールがあれば最高ののだが。

一方、私はというと場所取りが仕事だ。と言っても、小学校の運動会がある時だけで今回は当日の朝、場所

宮崎県医師会「女性医師保育支援サービスモデル事業」における医師と保育サポーターの全体顔合わせ会に、当日参加する医師のお子さんの遊び相手役として、同級生とともに参加しました。のびのびと活発で互いにすぐに仲良くなる子ども達と触れ合い、お母さん達ともお話しして、この制度の意義を感じずにはいられませんでした。その会の終わりに一人の先生に「医師会の広報誌に記事を書いている学生さんですよ！見えますよ。これからも頑張ってくださいね」とお声掛けをいただきました。育児も仕事も忙しい中、見てくださっている方がいる驚きと嬉しさに、胸が一杯になりました。お名前を伺い忘れてしまいましたので、その先生がこの欄を見てくださることを願いながら、お言葉をくださったお礼と、医師兼お母さんとしてのご活躍をお祈りいたします。(泉)

* * *

CBT・OSCEを終え、定期試験も残すは8科目となりました。気がつけば8月は過ぎ去っており、自分でも不思議な気分です。試験といえば、OSCEの対策は資料やレジュメで太刀打ちできないので、学籍番号に近い幾人かで毎日数時間集まって診察等の練習をしました。動作が定着しやすく、グループ学習も良いものだなと、疲弊した頭でぼんやりと感じた次第です。残りの科目もどうにか乗り越えていきたいと思います。(伊澤)

* * *

テニスの全米女子オープン、東レパンパシフィックオープンにおける大坂なおみ選手の快進撃を観るためにテレビの前から離れられず仕事がかどりません。挙句の果てに大坂選手が使用しているものと同じタイプのヨネックスのラケットを買ってしまう始末。この状況から抜け出るためにWOWOWの解約を考えています。(佐々木)

* * *

今月のトピックス

日州医談 自殺対策の現状と課題

昨年の全国の自殺者数は21,000人余りで、本県は199人、自殺率は全国9位とのことでした。大きな社会問題となっている自殺対策の現状と課題について吉田建世常任理事に解説していただきました。

4ページ

宮大医学部学生のページ カリキュラム変更と学生会の役割

医学部学生のカリキュラムの変更について5年生の山下さくらさんにわかりやすく解説していただきました。最近の若手医師には幅広い知識と手技を身につけた優秀な人が多く、教育や研修においては合理的な欧米のシステムに一日の長があるのかもしれない。

64ページ

診療メモ ネットワークシステムを通した顔の見える周産期医療—サブスリーを目指して—

宮崎の周産期医療の現状、インターネットを用いた分娩時胎児心拍数モニタリングによるネットワーク医療について宮崎市郡医師会病院の大橋昌尚先生に解説していただきました。本県の周産期死亡率が全国1位であるという素晴らしい事実には感動しました。

62ページ

日 州 医 事 第830号(平成30年10月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 西田 隆昭・副委員長 稲倉 琢也、野村 勝政
委 員 沖田 和久、山崎 俊輔、上山 貴子、植田 雄一
学 生 委 員 二見 旬祐、泉 摩依、伊澤 和範、土持 友香
担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗、佐々木 究
事 務 局 学術広報課 本崎 礼子、牧野 諭

印刷所 愛文社印刷株式会社・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。
定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)